

プログラム

SL	特別講演	3
PL	会長講演	4
PP	市民公開講座	5
ES	教育講演	6
IL	海外招待講演	9
MS	金子芳洋先生 追悼シンポジウム	12
SY	シンポジウム	13
PSY	公募シンポジウム	21
PD	パネルディスカッション	24
RS	査読セミナー	26
ENS	English Session	27
GS	学会助成研究成果報告講演	30
SS	スポンサードセミナー	31
EH	イブニングアワー	37
EXS	交流セミナー	38
PC	ポストコンGRES	40
O	一般演題 口演発表	41
P	一般演題 ポスター発表	65

今回の大会テーマは「摂食嚥下のSDGs」です。SDGsは「持続可能な開発目標」の略で、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標となっています。17のゴールが設定され、「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。

第28回大会 (JSDR2022) では、国内的にも国際的にも摂食嚥下リハビリテーション分野で「誰一人取り残さない」ことを目指し、2030年 (およそ10年先) を視野に、私たちは何を考えるべきか、どこに向かうべきかを本大会を通じて議論します。

今回「17のゴール」を考えるために「17のカテゴリー」を設定しました。「17のカテゴリー」は、1 研究、2 小児、3 高齢者、4 ステージ、5 疾患、6 栄養、7 評価、8 治療、9 地域、10 連携、11 経済、12 倫理、13 リスク、14 教育、15 世界、16 感染、17 災害としました。

1. 研究



2. 小児



3. 高齢者



4. ステージ



5. 疾患



6. 栄養



7. 評価



8. 治療



9. 地域



10. 連携



11. 経済



12. 倫理



13. リスク



14. 教育



15. 世界



16. 感染



17. 災害



特別講演 SL

9月23日(金) 13:30～14:30
第1会場 (2階 コンベンションホールAB)

特別講演

『『ステージⅣの舌ガンを乗り越えて生きる』～キャンサーギフト・大切な家族～』

座長：倉智 雅子 (国際医療福祉大学成田保健医療学部言語聴覚学科)
市村 久美子 (常磐大学看護学部)

演題番号	演者	所属	職種	演題
SL	ほり 堀 ちえみ	歌手兼女優	歌手兼女優	「ステージⅣの舌ガンを乗り越えて生きる」 ～キャンサーギフト・大切な家族～

会長講演 PL

9月23日(金) 8:30~9:30

第1会場 (2階 コンベンションホールAB)

会長講演

「摂食嚥下リハビリテーション史に見る言語聴覚士の軌跡」

座長：芳賀 信彦 (国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局)

演題番号	演者	所属	職種	演題
PL	くらち まさこ 倉智 雅子	国際医療福祉大学成田保健 医療学部言語聴覚学科	言語聴覚士	摂食嚥下リハビリテーション史に見る言語聴覚士の軌跡

9月24日(土) 11:20~12:20
第1会場 (2階 コンベンションホールAB)

市民公開講座

「空飛ぶ嚙下食：だれ一人取り残さない航空業界の取り組み」

座長：野崎 園子 (わかくさ竜間リハビリテーション病院リハビリテーション科)

津賀 一弘 (広島大学大学院医系科学研究科先端歯科補綴学)

演題番号	演者	所属	職種	演題
PP-1	ふじた りょうすけ 藤田 凌輔	日本航空株式会社 CX 企画推進部企画推進グループ	企業関係者	JAL グループのアクセシビリティ向上の取り組みと機内食対応
	はま のぶひこ 浜 信彦	ジャルロイヤルケータリング株式会社成田工場長	企業関係者	
PP-2	しみず まこと 清水 誠	株式会社 ANA ケータリングサービス総料理長	調理師	ANA グループ 機内食のユニバーサル化

教育講演 ES

9月23日(金) 9:40～10:40

第1会場 (2階 コンベンションホールAB)

教育講演 1

「サルコペニアの嚥下障害」

座長：藤島 一郎 (浜松市リハビリテーション病院リハビリテーション科)

演題番号	演者	所属	職種	演題
ES1	まえだ けいすけ 前田 圭介	国立長寿医療研究センター 老年内科	医師	サルコペニアの摂食嚥下障害

9月23日(金) 10:50～11:50

第1会場 (2階 コンベンションホールAB)

教育講演 2

「認知症と嚥下障害」

座長：浅田 美江 (公益社団法人愛知県看護協会訪問看護総合支援センター)

演題番号	演者	所属	職種	演題
ES2	ひらの ひろこ 平野 浩彦	東京都健康長寿医療センター 歯科口腔外科・研究所 自立促進と精神保健研究 チーム	医師	認知症の人の食を支える：その容態に応じた 適時適切な対応とは

9月23日(金) 10:50～11:50

第2会場 (2階 国際会議室)

教育講演 3

「嚥下調整食と栄養ケア」

座長：弘中 祥司 (昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座口腔衛生学部門)

演題番号	演者	所属	職種	演題
ES3	こじょう あきこ 小城 明子	東京医療保健大学医療保健 学部医療栄養学科	管理栄養士 ・栄養士	嚥下調整食と栄養ケア

教育講演 ES

9月23日(金) 14:40～15:40

第1会場 (2階 コンベンションホールAB)

教育講演 4 「医療福祉とSDGs」

座長：才藤 栄一 (学校法人藤田学園)

演題番号	演者	所属	職種	演題
ES4	すずき やすひろ 鈴木 康裕	国際医療福祉大学学長 (厚生労働省初代医務技監)	医師	医療福祉とSDGs

9月23日(金) 16:50～17:50

第2会場 (2階 国際会議室)

教育講演 5 「薬から始める摂食嚥下リハビリテーション～薬剤性嚥下障害への対応」

座長：深田 順子 (愛知県立大学看護学部)

演題番号	演者	所属	職種	演題
ES5	のほら かんじ 野原 幹司	大阪大学大学院歯学研究 科顎口腔機能治療学教室	歯科医師	薬から始める摂食嚥下リハビリテーション～ 薬剤性嚥下障害への対応

9月24日(土) 9:00～10:00

第1会場 (2階 コンベンションホールAB)

教育講演 6 「摂食嚥下機構の生理と解剖」

座長：菊谷 武 (日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック)

演題番号	演者	所属	職種	演題
ES6	いのうえ まこと 井上 誠	新潟大学大学院医歯学総合 研究科摂食嚥下リハビリ テーション学分野	歯科医師	摂食嚥下機構の生理と解剖

9月24日(土) 10:10～11:10

第1会場 (2階 コンベンションホールAB)

教育講演 7 「サルコペニア 一病態と対策一」

座長：武原 格 (東京都リハビリテーション病院リハビリテーション科)

演題番号	演者	所属	職種	演題
ES7	やまだ みお 山田 実	筑波大学人間系	理学療法士	サルコペニア 一病態と対策一

教育講演 ES

9月24日(土) 11:10～12:10

第2会場 (2階 国際会議室)

教育講演 8

「新型コロナのパンデミックを乗り越えた先に見えること～経験した私たちが今やっておくべきこと～」

座長：巨島 文子（諏訪赤十字病院リハビリテーション科）

演題番号	演者	所属	職種	演題
ES8	わだ こうじ 和田 耕治	国際医療福祉大学医学部公衆衛生学	医師	新型コロナのパンデミックを乗り越えた先に見えること～経験した私たちが今やっておくべきこと～

9月24日(土) 15:00～16:00

第1会場 (2階 コンベンションホールAB)

教育講演 9

「嚥下治療の均てん化」

座長：鎌倉 やよい（日本赤十字豊田看護大学看護学部）

演題番号	演者	所属	職種	演題
ES9	さいとう えいいち 才藤 栄一	藤田医科大学	医師	摂食嚥下リハビリテーションの均てん化

9月24日(土) 16:10～17:10

第1会場 (2階 コンベンションホールAB)

教育講演 10

「オーラルフレイル予防戦略 ～大規模コホート研究のエビデンスから地域コミュニティ住民活動へ～」

座長：近藤 和泉（国立長寿医療研究センター）

演題番号	演者	所属	職種	演題
ES10	いじま かつや 飯島 勝矢	東京大学高齢社会総合研究機構・未来ビジョン研究センター	医師	オーラルフレイル予防戦略 ～大規模コホート研究のエビデンスから地域コミュニティ住民活動へ～

海外招待講演 IL

9月23日(金) 8:30~9:30

第5会場 (3階 302)

海外招待講演 1

「Use of high resolution manometry-impedance to assess dysphagia across life span」

座長：花山 耕三 (川崎医科大学リハビリテーション科)

演題番号	演者	所属	職種	演題
IL1	Nathalie MJ Rommel	University of Leuven, Faculty of Medicine, Dept Neurosciences, Deglutology, Belgium	言語聴覚士	Use of high resolution manometry-impedance to assess dysphagia across life span

9月23日(金) 9:40~10:40

第5会場 (3階 302)

海外招待講演 2

「Dysphagia and Intellectual disability: A lifelong Perspective」

座長：水上 美樹 (日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック)

演題番号	演者	所属	職種	演題
IL2	Melissa Ann Farrow	Texas Health and Human Services Commission, USA	言語聴覚士	Dysphagia and Intellectual disability: A lifelong Perspective

9月23日(金) 10:50~11:50

第5会場 (3階 302)

海外招待講演 3

「Artificial intelligence solutions in Parkinson Therapy」

座長：出江 紳一 (東北大学大学院医工学研究科リハビリテーション医工学分野)

演題番号	演者	所属	職種	演題
IL3	Kerstin Bilda	Department of Applied Health Sciences, Hochschule für Gesundheit, Germany	言語聴覚士	Artificial intelligence solutions in Parkinson Therapy

海外招待講演 IL

9月23日(金) 13:30~14:30

第5会場 (3階 302)

海外招待講演 4

「Motor Skill Rehabilitation in Neurogenic Dysphagia」

座長：柴本 勇 (聖隷クリストファー大学言語聴覚学科)

演題番号	演者	所属	職種	演題
IL4	Maggie-Lee Huckabee	Rose Centre for Stroke Recovery and Research, University of Canterbury School of Psychology, Speech and Hearing, Christchurch New Zealand	言語聴覚士	Motor Skill Rehabilitation in Neurogenic Dysphagia

9月24日(土) 9:00~10:00

第5会場 (3階 302)

海外招待講演 5

「Water Protocols: The Supportive Evidence and the Importance of Clinical Judgment」

座長：千葉 由美 (横浜市立大学大学院医学研究科看護学専攻先端成人看護学)

演題番号	演者	所属	職種	演題
IL5	Kathy M Panther	Retired from Frazier Rehab Institute University of Louisville Health, USA	言語聴覚士	Water Protocols: The Supportive Evidence and the Importance of Clinical Judgment

9月24日(土) 10:10~11:10

第5会場 (3階 302)

海外招待講演 6

「Integrating telehealth to dysphagia management: opportunities and responsibilities」

座長：松尾 浩一郎 (東京医科歯科大学大学院地域・福祉口腔機能管理学分野)

演題番号	演者	所属	職種	演題
IL6	Georgia A. Malandraki	Department of Speech, Language, & Hearing Sciences Weldon School of Biomedical Engineering (Courtesy) Purdue University, USA	言語聴覚士	Integrating telehealth to dysphagia management: opportunities and responsibilities

海外招待講演 IL

9月24日(土) 11:20~12:20

第5会場 (3階 302)

海外招待講演 7

[Lee Silverman Voice Treatment (LSVT LOUD®): its global influence on speech and voice, and early findings on swallowing]

座長：稲本 陽子 (藤田医科大学保健衛生学部リハビリテーション学科)

演題番号	演者	所属	職種	演題
IL7	Lorraine A. Ramig	LSVT Global Columbia University, University of Colorado, USA	言語聴覚士	Lee Silverman Voice Treatment (LSVT LOUD®): its global influence on speech and voice, and early findings on swallowing

9月24日(土) 13:30~14:30

第5会場 (3階 302)

海外招待講演 8

[Videofluoroscopic Imaging of Swallowing: Validated Standards for Safety, Accuracy, Reproducibility, and Outcomes - Big Data Refelcting a 15-year Global Experience]

座長：井上 誠 (新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野)

演題番号	演者	所属	職種	演題
IL8	Bonnie Martin-Harris	Northwestern University, USA	言語聴覚士	Videofluoroscopic Imaging of Swallowing: Validated Standards for Safety, Accuracy, Reproducibility, and Outcomes - Big Data Refelcting a 15-year Global Experience

9月24日(土) 14:40~15:40

第5会場 (3階 302)

海外招待講演 9

[Prehabilitation, Rehabilitation and Otolaryngological intervention in dysphagia management]

座長：香取 幸夫 (東北大学耳鼻咽喉・頭頸部外科)

演題番号	演者	所属	職種	演題
IL9	Jacqueline E Allen	Department of Surgery University of Auckland, New Zealand	医師	Prehabilitation, Rehabilitation and Otolaryngological intervention in dysphagia management

金子芳洋先生 追悼シンポジウム MS

9月24日(土) 13:50～14:50
第1会場 (2階 コンベンションホールAB)

金子芳洋先生 追悼シンポジウム

座長：植田 耕一郎 (日本大学歯学部摂食機能療法学講座)

演題番号	演者	所属	職種	演題
MS1	さいとう えいいち 才藤 栄一	藤田医科大学	医師	金子芳洋先生の価値ある貢献
MS2	むかい よしはる 向井 美恵	昭和大学名誉教授	歯科医師	「人との出会い」を大切にしたフロントランナー
MS3	たむら ふみよ 田村 文誉	日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック	歯科医師	金子芳洋先生から ～後輩へのメッセージ～
MS4	うえだ こういちろう 植田 耕一郎	日本大学歯学部摂食機能療法学講座	歯科医師	金子先生を偲んで

シンポジウム SY

9月23日(金) 8:30~10:30

第2会場 (2階 国際会議室)

シンポジウム 1



「誰一人取り残さない 重症心身障害児への栄養・摂食支援」

座長：高増 哲也 (神奈川県立子ども医療センター地域保健推進部)

大高 美和 (NPO 法人ゆめのめ)

演題番号	演者	所属	職種	演題
SY1-1	たかます てつや 高増 哲也	神奈川県立子ども医療センター地域保健推進部	医師	誰一人取り残さないを実現するシステムを今構築すべき理由
SY1-2	おおたか みわ 大高 美和	NPO 法人ゆめのめ	管理栄養士 ・栄養士	重症児デイサービスでの食育～誰もが食べる経験を楽しむ取り組みと課題～
SY1-3	あさの かずえ 浅野 一恵	重症心身障害児者施設つばさ静岡小児科	医師	子どもたちと家族の楽しい食事を支えるため
SY1-4	あやの りか 綾野 理加	昭和大学歯学部小児成育歯科学講座	歯科医師	誰ひとり取り残さない世の中になるために - 重心児の摂食嚥下障害への支援について考えていること -
SY1-5	ふじい ようこ 藤井 葉子	広島市西部子ども療育センター	管理栄養士 ・栄養士	心身障害児の将来を考慮した栄養・摂食支援
SY1-6	あむら ちすん 金 志純	株式会社東京リハビリテーションサービス	看護師・保健師	在宅における現状と生活に寄り添うケア

9月23日(金) 8:30~10:30

第3会場 (2階 201)

シンポジウム 2



「トップランナーに学ぶ ベッドサイドスクリーニング」

座長：加賀谷 斉 (国立長寿医療研究センターリハビリテーション科)

演題番号	演者	所属	職種	演題
SY2-1	みき たつと 三鬼 達人	藤田医科大学ばんだね病院看護部	看護師・保健師	急性期病院におけるチームアプローチの実際 - 認定看護師によるベッドサイドスクリーニング -
SY2-2	しみず みつこ 清水 充子	埼玉県総合リハビリテーションセンター言語聴覚科	言語聴覚士	ベッドサイドスクリーニングの意義と実践 ～言語聴覚士の立場から～
SY2-3	よしだ つし 吉田 剛	高崎健康福祉大学保健医療学部理学療法学科	理学療法士	理学療法の視点から行う摂食嚥下障害に対するベッドサイドスクリーニング

シンポジウム SY

9月23日(金) 13:30~15:00

第2会場 (2階 国際会議室)

シンポジウム 3 「トッランナーに学ぶ VF を極める」

座長：馬場 尊 (足利赤十字病院リハビリテーション科)

演題番号	演者	所属	職種	演題
SY3-1	ふくおか たつゆき 福岡 達之	広島国際大学リハビリテーション学科言語聴覚療法学専攻	言語聴覚士	言語聴覚士のための嚥下造影の見方と治療ストラテジー
SY3-2	おおた きくお 太田 喜久夫	藤田医科大学医学部ロボット技術活用地域リハビリ医学	医師	嚥下造影検査を極める：臨床に活かすVFの撮像法と捉え方

9月23日(金) 13:30~15:30

第3会場 (2階 201)

シンポジウム 4 「摂食嚥下障害における臨床倫理」

座長：藤島 一郎 (浜松市リハビリテーション病院リハビリテーション科)

板井 孝彦郎 (宮崎大学大学院医学獣医学総合研究科 / 宮崎大学医学部附属病院生命・医療倫理学分野 / 臨床倫理部)

演題番号	演者	所属	職種	演題
SY4-1	いたい こういちろう 板井 孝彦郎	宮崎大学大学院医学獣医学総合研究科	大学・専門学校等教員	臨床倫理の「考え方」と摂食嚥下障害
SY4-2	こやま たまみ 小山 珠美	NPO法人口から食べる幸せを守る会	看護師・保健師	口から食べる幸せを得るための権利擁護
SY4-3	おかもと けいし 岡本 圭史	浜松市リハビリテーション病院リハビリテーション部言語聴覚士	言語聴覚士	摂食嚥下障害にまつわる倫理的問題の気づきとジレンマ
SY4-4	きくたに たけし 菊谷 武	日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック	歯科医師	在宅生活における食と臨床倫理

シンポジウム SY

9月23日(金) 13:30~15:30

第4会場 (3階 301)

シンポジウム 5



「看護師による持続可能な開発の模索」

座長：山根 由起子 (旭川医科大学医学部看護学科)

三鬼 達人 (藤田医科大学 ばんだね病院看護部)

演題番号	演者	所属	職種	演題
SY5-1	さとう まり 佐藤 真理	京都大学医学部附属病院看護部	看護師・保健師	急性期総合病院における入院時嚥下スクリーニング導入による看護師の意識変化
SY5-2	たむら しげる 田村 茂	藤田医科大学病院看護部回復期リハビリテーション病棟	看護師・保健師	急性期病院における看護スクリーニングフローチャートを用いた誤嚥性肺炎の発生率と患者特性
SY5-3	くまもと のぶお 隈本 伸生	一般財団法人平成紫川会小倉記念病院看護部	看護師・保健師	脳卒中栄養プロトコル
SY5-4	にしむら さとこ 西村 智子	厚木市立病院看護部	看護師・保健師	病棟看護師と訪問歯科の連携に対する実態調査

9月23日(金) 15:50~17:50

第1会場 (2階 コンベンションホールAB)

シンポジウム 6



「誰一人取り残さない 摂食支援 介護の現場から」

座長：植田 耕一郎 (日本大学歯学部摂食機能療法学講座)

演題番号	演者	所属	職種	演題
SY6-1	いとう みわ 伊藤 美和	社会福祉法人西春日井福祉会特別養護老人ホーム平安の里	看護師・保健師	特養における経管栄養を選択した利用者への支援
SY6-2	もんじやま はずみ 文字山 穂瑞	東京西の森歯科衛生士専門学校	歯科衛生士	口にかかわり食べるを支える
SY6-3	かわまた ゆうへい 川俣 悠平	にしなすの総合在宅ケアセンター	言語聴覚士	「食べることは生きること」を支える在宅医療
SY6-4	すがはら けんすけ 菅原 健介	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科	理学療法士	好きなものを食べて、好きに生きる自由について～1000万回再生された動画と暮らしを支える覚悟～

シンポジウム SY

9月23日(金) 15:40~17:40

第3会場 (2階 201)

シンポジウム 7



「トッランナーに学ぶ 嚥下レジスタンストレーニング」

座長：國枝 顯二郎（岐阜大学医学部附属病院脳神経内科）

演題番号	演者	所属	職種	演題
SY7-1	やの ひつろう 矢野 実郎	川崎医療福祉大学リハビリテーション学部言語聴覚療法学科	言語聴覚士	舌のレジスタンストレーニング
SY7-2	なんど ともき 南都 智紀	京都先端科学大学健康医療学部言語聴覚学科	言語聴覚士	舌骨上筋群のトレーニング - 訓練効果を高める Tips -
SY7-3	ひらた あや 平田 文	国際医療福祉大学保健医療学部言語聴覚学科	言語聴覚士	咽頭収縮力を高めるレジスタンストレーニング

9月23日(金) 15:40~17:10

第4会場 (3階 301)

シンポジウム 8



「窒息事故防止」

座長：唐帆 健浩（じんだい耳鼻咽喉科 / 杏林大学摂食嚥下センター）

柴本 勇（聖隷クリストファー大学言語聴覚学科）

演題番号	演者	所属	職種	演題
SY8-1	ますだ しん 益田 慎	県立広島病院小児感覚器科	医師	小児の窒息
SY8-2	じとう たかはる 二藤 隆春	埼玉医科大学総合医療センター耳鼻咽喉科	医師	窒息事故のメカニズム
SY8-3	はやし よしゆき 林 良幸	杏林大学医学部付属病院リハビリテーション室	言語聴覚士	窒息事故防止 成人への対応：入院患者への窒息事故防止策
SY8-4	ばば みこと 馬場 尊	介護老人保健施設ふじあく光荘	医師	老健施設での窒息事故防止策
SY8-5	ふるや さとし 古屋 聡	山梨市立牧丘病院	医師	在宅での窒息事故防止策 - 家族への啓発 -
SY8-6	わたなべ 渡部 みづき	杏林大学医学部付属病院栄養部	管理栄養士 ・栄養士	食形態の工夫：病院栄養部における窒息事故防止策と家族への栄養指導
SY8-7	かの まこと 鹿野 真人	大原総合病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科	医師	窒息事故への現場での対処法

シンポジウム SY

9月24日(土) 9:00~11:00

第2会場 (2階 国際会議室)

シンポジウム 9

「誰一人取り残さない 摂食支援 地域の取り組み」

座長：戸原 玄 (東京医科歯科大学摂食嚥下リハビリテーション学分野)

石山 寿子 (国際医療福祉大学成田保健医療学部言語聴覚学科)

演題番号	演者	所属	職種	演題
SY9-1	やまぐち こうへい 山口 浩平	東京医科歯科大学大学院医 歯学総合研究科摂食嚥下リ ハビリテーション学分野	歯科医師	3D フードプリンターから ICT まで最新機器 を使って楽しさや驚き、可能性を取り残さな い
SY9-2	かとう さくら 加藤 さくら	一般社団法人 mogmog engine	その他	「おいしい！」を共有する喜び、子どもの食 の楽しみを取り残さない
SY9-3	わたなべ みさお 渡邊 操	公益社団法人銀鈴会	その他	声を失ってもコミュニケーションを取り残さ ない
SY9-4	ととき ひさこ 十時 久子	フリーランス	歯科衛生士	遷延性意識障害者の嚥下もコミュニケーシ ョンも取り残さない！

9月24日(土) 9:00~10:30

第3会場 (2階 201)

シンポジウム 10

「トッパーナーに学ぶ VE を極める」

座長：兵頭 政光 (高知大学耳鼻咽喉科)

演題番号	演者	所属	職種	演題
SY10-1	かねおか あさこ 兼岡 麻子	東京大学医学部附属病院リ ハビリテーション部	言語聴覚士	メデイカルスタッフのための4+1のポイント
SY10-2	かなざわ ひであき 金沢 英哲	Swallowish Clinic	医師	摂食嚥下リハビリテーションを専門とする方 への VE の pitfall と tips

シンポジウム SY

9月24日(土) 10:40~12:10

第3会場 (2階 201)

シンポジウム 11



「嚥下機能改善手術と周術期アプローチ」

座長：香取 幸夫 (東北大学耳鼻咽喉・頭頸部外科)

演題番号	演者	所属	職種	演題
SY11-1	つだ こうた 津田 豪太	聖隷佐倉市民病院摂食嚥下センター	医師	術前から始まる周術期アプローチ ～多角的なチーム対応～
SY11-2	きよみや ゆうと 清宮 悠人	聖隷佐倉市民病院リハビリテーション室	言語聴覚士	嚥下機能改善手術周術期における摂食嚥下リハビリテーションの実際
SY11-3	ふじもと やすし 藤本 保志	愛知医科大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科	医師	嚥下機能改善手術一周術期管理を通じた機能改善メカニズムの考察
SY11-4	あおやま ひさあき 青山 寿昭	愛知県がんセンター看護部	看護師・保健師・学生・大学院生	頭頸部癌術後嚥下障害の周術期アプローチ

9月24日(土) 13:40~15:10

第3会場 (2階 201)

シンポジウム 12



「摂食嚥下リハビリテーションにおける補綴的アプローチ」

座長：小野 高裕 (新潟大学歯学部包括歯科補綴学分野)

演題番号	演者	所属	職種	演題
SY12-1	にしわき けいこ 西脇 恵子	日本歯科大学附属病院言語聴覚士室	言語聴覚士	摂食嚥下障害のある人への口腔内装置を使ったリハビリテーションのヒント
SY12-2	ふくい さやか 福井 沙矢香	日本大学歯学部付属歯科病院歯科衛生室	歯科衛生士	顎顔面補綴科における歯科衛生士の役割
SY12-3	ほり かずひろ 堀 一浩	新潟大学大学院医歯学総合研究科包括歯科補綴学分野	歯科医師	様々な補綴装置を用いた機能回復

共催：日本顎顔面補綴学会

9月24日(土) 13:40~15:40

第4会場 (3階 301)

シンポジウム 13



「摂食嚥下リハビリテーションにおける栄養・食事の役割」

座長：栢下 淳 (県立広島大学地域創生学部)

前田 圭介 (国立長寿医療研究センター老年内科)

演題番号	演者	所属	職種	演題
SY13-1	ふじたに じゆんこ 藤谷 順子	国立国際医療研究センター	医師	ミキサーを使わない嚥下調整食を増やしたい -米粉ゼリーの研究
SY13-2	せんだい なおゆき 仙田 直之	総合病院松江生協病院耳鼻 咽喉科	医師	均質な嚥下調整食から摂食嚥下訓練を開始す ることの重要性
SY13-3	しみず あきお 清水 昭雄	長野県立大学健康発達学部 食健康学科	管理栄養士 ・栄養士	嚥下調整食摂取は低栄養のリスクである
SY13-4	えがしら ふみえ 江頭 文江	地域栄養ケア PEACH 厚木	管理栄養士 ・栄養士	摂食嚥下リハビリテーションにおける栄養管 理の重要性
SY13-5	さいき あきの 齋木 章乃	東京医科歯科大学大学院医 歯学総合研究科摂食嚥下リ ハビリテーション学分野	歯科医師	嚥下障害患者に対する炭酸とろみ水の効果と 活用

9月24日(土) 15:20~17:20

第2会場 (2階 国際会議室)

シンポジウム 14



「トッランナーに学ぶ 電気刺激を極める」

座長：越久 仁敬 (兵庫医科大学生理学講座生体機能部門)

演題番号	演者	所属	職種	演題
SY14-1	ながみ しんすけ 永見 慎輔	川崎医療福祉大学リハビリ テーション学部言語聴覚療 法学科	言語聴覚士	IFC-TESS を用いた摂食嚥下リハビリテ ーションの動向と実際
SY14-2	まがら じん 真柄 仁	新潟大学医歯学総合病院摂 食嚥下機能回復部	歯科医師	咽頭電気刺激がもたらす嚥下機能改善効果
SY14-3	しげまつ たかし 重松 孝	浜松市リハビリテーション 病院えんげセンター	医師	回復期リハビリテーション病棟で行う電気刺 激装置を用いた摂食嚥下診療

シンポジウム SY

9月24日(土) 15:50～17:20

第3会場 (2階 201)

シンポジウム 15



「経済（例：摂食嚥下障害者に対する医療保険制度、摂食嚥下支援加算）」

座長：津田 豪太（聖隷佐倉市民病院耳鼻咽喉科）

演題番号	演者	所属	職種	演題
SY15-1	つだ こうた 津田 豪太	聖隷佐倉市民病院耳鼻咽喉科	医師	摂食嚥下センターによる集学的対応
SY15-2	うちやま かずし 内山 量史	一般社団法人日本語聴覚士協会	言語聴覚士	摂食嚥下障害者への言語聴覚士業務の変遷について ～日本語聴覚士協会 調査報告より～
SY15-3	わたなべ みつこ 渡邊 光子	西広島リハビリテーション病院	言語聴覚士	摂食嚥下リハビリテーションにおけるチーム医療の有効性

公募シンポジウム PSY

9月23日(金) 15:10～16:40

第2会場 (2階 国際会議室)

公募シンポジウム 1



「災害時の摂食嚥下障害者に対する多職種での『食べる』支援 ～実践経験からの体制構築～」

座長：中久木 康一 (東京医科歯科大学救急災害医学分野)

宮崎 美砂子 (千葉大学大学院看護学研究院)

演題番号	演者	所属	職種	演題
PSY1-1	かわせ そういちろう 河瀬 聡一郎	石巻市雄勝歯科診療所歯科	歯科医師	災害現場で“食べる”を支える 歯科の役割
PSY1-2	にしわき けいこ 西脇 恵子	日本歯科大学附属病院言語聴覚士室	言語聴覚士	災害リハビリテーションにおける言語聴覚士の活動に関する提案
PSY1-3	かさおか つばやま のぶよ 笠岡 (坪山) 宣代	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所国際災害栄養研究室	管理栄養士・栄養士	災害時の栄養支援と災害食
PSY1-4	まえだ けいすけ 前田 圭介	国立長寿医療研究センター老年内科	医師	災害避難所における食べる問題に必要な支援
PSY1-5	なかくき こういち 中久木 康一	東京医科歯科大学大学院歯学総合研究科救急災害医学分野	歯科医師	災害時における多職種での「食べる支援」の共通評価・管理に向けた提案

プログラム

9月23日(金) 17:20～18:50

第4会場 (3階 301)

公募シンポジウム 2



「新興経気道感染症パンデミックにおける嚥下障害診療～ COVID-19 の経験から」

座長：木村 百合香 (東京都立荏原病院耳鼻咽喉科)

演題番号	演者	所属	職種	演題
PSY2-1	こにし まさのり 小西 正訓	中村記念病院耳鼻咽喉科	医師	脳神経外科/内科専門病院におけるクラスターへの対応から
PSY2-2	うえやなぎ なつみ 上柳 菜摘	ファストドクター株式会社	看護師・保健師・企業関係者	コロナ罹患時の自宅療養を守る～救急往診専門クリニックの立場から～
PSY2-3	きむら ゆりか 木村 百合香	東京都立荏原病院耳鼻咽喉科	医師	経気道感染症のパンデミック下における嚥下障害診療の在り方～コロナ専門病院の立場から
PSY2-4	うえは るみ 上羽 瑠美	東京大学医学部附属病院摂食嚥下センター	医師	新興経気道感染症パンデミックにおける嚥下障害診療：高次医療機関の立場から

公募シンポジウム PSY

9月24日(土) 9:00~10:30

第4会場 (3階 301)

公募シンポジウム 3



「地域で取り組む多職種連携教育の実践報告」

座長：西山 耕一郎 (横浜嚥下研究会 / 西山耳鼻咽喉科医院)

五島 朋幸 (ふれあい歯科ごとう)

演題番号	演者	所属	職種	演題
PSY3-1	ことう ともゆき 五島 朋幸	ふれあい歯科ごとう	歯科医師	地域多職種連携とオンライン化による全国とのつながり
PSY3-2	せお りか こ 瀬尾 利加子	株式会社瀬尾医療連携事務 所代表取締役	企業関係者	地元食材を活かした美しい嚥下調整食を料理人と共に～鶴岡食材を使った嚥下食を考える研究会～
PSY3-3	わらびの ひろし 蕨野 浩	株式会社メディケア・リハ ビリメディケア・リハビリ 訪問看護ステーション	作業療法士	ハートケアグループの地域循環・多職種連携教育の実践報告
PSY3-4	いのうえ とうた 井上 登太	在宅支援有床診療所みえ呼 吸嚥下リハビリクリニック 院長	医師	最後までかかわるために、時代とともに変わってきたかかわり方
PSY3-5	やました かずのり 山下 和典	株式会社メディケア・リハ ビリ訪問看護ステーション 京都	作業療法士	Life (命、人生、生活) が「幸せ・豊か」になること
PSY3-6	おえ ゆき こ 麻植 有希子	SOMPO ケア株式会社	管理栄養士 ・栄養士	家族や本人の意向に沿った在宅訪問栄養の実践について
PSY3-7	にしやま こういちろう 西山 耕一郎	横浜嚥下研究会 / 西山耳鼻 咽喉科医院	医師	横浜嚥下研究会による地域で取り組む多職種連携教育の実践報告

公募シンポジウム PSY

9月24日(土) 15:50~17:20

第4会場 (3階 301)

公募シンポジウム 4



「多職種連携教育から未来に受け継ぐコーチング - 皆で対話する持続可能な社会の実現 -」

座長：出江 紳一（東北大学大学院医工学研究科リハビリテーション医工学分野）

大西 達也（フォース歯科）

演題番号	演者	所属	職種	演題
PSY4-1	いしい なおみ 石井 尚美	地方独立行政法人東京都立 病院機構東京都立神経病院 看護科	看護師・保健師	コーチングがもたらす気づきの価値～研修に コーチがつくことの意味～
PSY4-2	おおにし たつや 大西 達也	フォース歯科	歯科医師	多職種連携教育から持続可能な多職種連携へ
PSY4-3	えとう ともこ 江藤 倫子	医療生協さいたま埼玉協同 病院技術部リハビリテー ション技術科	歯科衛生士	歯科衛生士の視点から考える多職種連携 (IPW) の実践
PSY4-4	かいげ めぐみ 界外 恵	医療法人讃和会友愛会病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	急性期～「タイプ分け™」を活かした組織作 りと職員経験価値向上
PSY4-5	かなもり だいすけ 金森 大輔	藤田医科大学医学部七栗記 念病院歯科	歯科医師	回復期～行動を支える対話
PSY4-6	ひらお ゆみ 平尾 由美	社会医療法人清風会日本原 病院リハビリテーション科	言語聴覚士	終末期～病院から在宅へ～繋がる患者経験価 値
PSY4-7	はまだ ひろみ 濱田 浩美	幌西歯科	歯科医師	終末期～病院から在宅へ～繋がる患者経験価 値

パネルディスカッション PD

9月23日(金) 8:30~10:00

第4会場 (3階 301)

パネルディスカッション 1 「The マノメトリー」



座長：熊井 良彦 (長崎大学耳鼻咽喉科頭頸部外科)

演題番号	演者	所属	職種	演題
PD1-1	くにえだ けんじろう 國枝 顕二郎	岐阜大学大学院医学系研究 科脳神経内科学分野	医師	高解像度マノメトリーの臨床応用－嚥下障害の 病態解明と新しい嚥下法の発見－
PD1-2	まつばら けいこ 松原 慶吾	熊本保健科学大学保健科学 部リハビリテーション学 科言語聴覚学専攻	言語聴覚士	食道癌術後患者における頸部屈曲位がもたら す効果の機序
PD1-3	あおやぎ よういちろう 青柳 陽一郎	日本医科大学大学院医学研 究科リハビリテーション学 分野	医師	高解像度マノメトリーと嚥下造影検査からみ た嚥下障害

9月23日(金) 10:20~11:50

第4会場 (3階 301)

パネルディスカッション 2 「The 筋電図」



座長：柴本 勇 (聖隷クリストファー大学言語聴覚学科)

演題番号	演者	所属	職種	演題
PD2-1	しばもと いさむ 柴本 勇	聖隷クリストファー大学 言語聴覚学科	言語聴覚士	摂食嚥下リハビリテーションでの表面筋電の 活用：言語聴覚士の視点から
PD2-2	ささき まこと 佐々木 誠	岩手大学理工学部システム 創成工学科	大学・専門 学校等教員	表面筋電の基礎と可能性
PD2-3	つじむら たかのり 辻村 恭憲	新潟大学大学院医学総合 研究科摂食嚥下リハビリ テーション学分野	歯科医師	筋電図を用いた顎口腔機能計測と臨床応用へ の期待

パネルディスカッション PD

9月24日(土) 10:40~12:10

第4会場 (3階 301)

パネルディスカッション 3 「The 嚥下エコー」



座長：若林 秀隆 (東京女子医科大学病院リハビリテーション科)

演題番号	演者	所属	職種	演題
PD3-1	<small>もり たかし</small> 森 隆志	総合南東北病院口腔外科	言語聴覚士	超音波検査装置による嚥下関連筋群の筋肉量の評価法とその意義
PD3-2	<small>おおくぼ まい</small> 大久保 真衣	東京歯科大学口腔健康科学講座摂食嚥下リハビリテーション研究室	歯科医師	超音波診断装置を用いて舌機能を解析する
PD3-3	<small>みうら ゆか</small> 三浦 由佳	藤田医科大学研究推進部門社会実装看護創成研究センター	看護師・保健師	誤嚥と残留物を可視化する嚥下エコーのこれまでと将来展望

9月24日(土) 13:40~15:10

第2会場 (2階 国際会議室)

パネルディスカッション 4 「The 舌圧」



座長：菊谷 武 (日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック)

演題番号	演者	所属	職種	演題
PD4-1	<small>むらかみ かずひろ</small> 村上 和裕	新潟大学大学院医歯学総合研究科包括歯科補綴学分野	歯科医師	極薄型舌圧センサシートで明らかになる機能時舌圧
PD4-2	<small>よしだ みつよし</small> 吉田 光由	藤田医科大学医学部歯科口腔外科学講座	歯科医師	JMS 舌圧測定器開発を通じて見えてきた舌圧測定の意義
PD4-3	<small>さかい ことみ</small> 堺 琴美	立命館大学総合科学技術研究機構医療経済評価・意思決定支援ユニット	言語聴覚士	摂食嚥下リハビリテーションにおける舌圧測定および介入の臨床的意義は何か

査読セミナー RS

9月23日(金) 17:50~18:50

第3会場 (2階 201)

査読セミナー

「学会誌投稿・査読について」

座長：花山 耕三 (川崎医科大学リハビリテーション医学)

演題番号	演者	所属	職種	演題
RS1	はなやま こうぞう 花山 耕三	川崎医科大学リハビリテーション医学	医師	学会誌投稿・査読の留意点
RS2	かがや ひとし 加賀谷 斉	国立長寿医療研究センター リハビリテーション科	医師	研究倫理における留意点

English Session ENS

9月23日(金) 14:40~15:50

第5会場 (3階 302)

English Session 1



座長：Junko Nakajima (Tokyo Dental College)

海外招聘来日講師

演題番号	演者	所属	職種	演題
ENS1-1	Aki Takagi	Department of Health and Welfare, Graduate School, Niigata University of Health and Welfare, Niigata, Japan	言語聴覚士	Intervention for dysphagia patients using mMASA in southern Thailand and its practicality
ENS1-2	Yuto Kiyomiya	Seirei Sakura Citizen Hospital	言語聴覚士	Effects of the suprahyoid muscle strength training in post-extubation dysphagia with COVID-19
ENS1-3	Howell Henrian Bayona	St. Luke's Medical Center	言語聴覚士	Effectiveness of Thickened Liquids in Children with Oropharyngeal Dysphagia: A Systematic Review
ENS1-4	Takako Tanimura	Visiting nursing station TABELU	言語聴覚士	A case study of rehabilitation for severe dysphagia from metachronous oropharyngeal cancer treatment
ENS1-5	Young Ju Jin	Department of Otorhinolaryngology-Head and Neck Surgery, Seoul National University College of Medicine, Seoul, Republic of Korea	医師	Standardization of FEES evaluation for accurate diagnosis of dysphagia
ENS1-6	Nai-Hsin Meng	Associate professor of School of Medicine, China Medical University, Taichung, Taiwan Department of Physical Medicine and Rehabilitation, China Medical University Hospital, Taichung, Taiwan	医師	A Pharyngeal Clearance Facilitating Maneuver: Direct Chin Tuck Against Resistance
ENS1-7	Amber Anderson	Department of Speech, Language, and Hearing Sciences, University of Florida	言語聴覚士	Reliability of Visual Perceptual Pharyngeal Residue Ratings on FEES Using a 100mm Visual Analogue Scale

English Session ENS

9月23日(金) 15:50~16:50

第5会場 (3階 302)

English Session 2



座長：Yoichiro Sugiyama (Department of Otolaryngology-Head and Neck Surgery, Kyoto Prefectural University of Medicine)
海外招聘来日講師

演題番号	演者	所属	職種	演題
ENS2-1	Yuhei Tsutsui	Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Division of Dysphagia Rehabilitation	歯科医師	Functional role of posterior belly of digastric muscle in swallowing in the rat
ENS2-2	Satomi Kawada	Division of Dysphagia Rehabilitation, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan	歯科医師	Effect of potassium ions on swallowing initiation in rats
ENS2-3	Titi Chotirungsan	Dysphagia Rehabilitation, Niigata University	歯科医師	Effects of Unilateral External Carotid Artery Ligation on Mastication and Swallowing in Rats
ENS2-4	Noemí Tomsen	Gastrointestinal Physiology Laboratory, Hospital de Mataró, Mataró, Spain	医師	A randomized clinical trial on the effect of two weeks of treatment with capsaicin in older patients with oropharyngeal dysphagia
ENS2-5	Suzanne N. King	Otolaryngology Head and Neck Surgery and Communicative Disorders, University of Louisville	言語聴覚士	Radiation-induced changes in profibrotic markers in the submental muscles in the rat
ENS2-6	Cara Donohue	Aerodigestive Research Core Laboratory, University of Florida, Gainesville, FL, USA	言語聴覚士	Comparison of Validated Outcomes of Swallowing Efficiency: Perceptual Ordinal DIGEST Versus Quantitative Pixel-Based ASPEKT Ratings of Pharyngeal Residue

English Session ENS

9月24日(土) 11:20~12:30

第7会場 (1階 102)

English Session 3



座長：Makoto Kariyasu (Human Communication Science Laboratories)

海外招聘来日講師

演題番号	演者	所属	職種	演題
ENS3-1	Yuta Nakajima	Division of Dysphagia Rehabilitation, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan	歯科医師	Facilitatory effect of atropine on initiation of swallowing reflex evoked by distilled water in anes
ENS3-2	Sirinthip Amornsuradech	Tokyo Medical and Dental University	学生・大学院生	Relationship between lower limb muscle characteristics and perioral muscle strengths in adults
ENS3-3	Reiko Ita	Division of Dysphagia Rehabilitation, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan	学生・大学院生	Electromyographic analysis of tongue and hyoid muscles during tongue pressure generation
ENS3-4	Nicolau Guanyabens	Gastrointestinal Physiology Laboratory, Department of Surgery, Hospital de Mataró	医師	Oropharyngeal dysphagia in older patients is associated with simultaneous sensory and motor dysfunction in swallowing pathways
ENS3-5	Weon-Sun Shin	Department of Food & Nutrition, College of Human Ecology, Hanyang University, President, Shinwon TMS Inc.	医師	Current issues of the practical guideline and product development for dysphagia meal in Korea
ENS3-6	Ming-Yen Hsiao	Department of Physical Medicine and Rehabilitation, College of Medicine, National Taiwan University, Taipei, Taiwan	医師	Application of IDDSI diet in the evaluation of dysphagia
ENS3-7	Ruth Flynn	Swallowing Rehabilitation Research Laboratory at the Rose Centre for Stroke Recovery and Research, Christchurch, New Zealand	言語聴覚士	The Test of Masticating and Swallowing Solids Application (ToMaSSApp) and the Timed Water Swallow Test (TWST): Application to telepractice

学会助成研究成果報告講演 GS

9月23日(金) 10:40~11:50

第3会場 (2階 201)

学会助成研究成果報告講演

座長：小野木 啓子 (藤田医科大学保健衛生学部リハビリテーション学科)

演題番号	演者	所属	職種	演題
GS1	うえしま じゆんこ 上島 順子	NTT 東日本関東病院栄養部	管理栄養士 ・栄養士	栄養素強化嚥下調整食の提供による嚥下障害患者の臨床的転帰の変化 (現状調査報告)
GS2	さいとう みつこ 齊藤 美都子	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野	歯科医師	舌がん患者の再建舌体積と BMI の関係
GS3	ふくま かずき 福間 一樹	国立循環器病研究センター脳神経内科	医師	急性期脳卒中におけるサルコペニアと摂食嚥下予後
GS4	うえは るみ 上羽 瑠美	東京大学医学部摂食嚥下センター	医師	多系統萎縮症における食道運動障害の検討

スポンサードセミナー SS

9月23日(金) 8:30~9:30

第6会場 (3階 303)

スポンサードセミナー 1

座長：岩田 久義 (錦海リハビリテーション病院)

演者	所属	職種	演題
ひろおか たつゆき 福岡 達之	広島国際大学総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科言語聴覚療法専攻	言語聴覚士	口腔機能維持訓練用具「長息生活」を活用した摂食嚥下リハビリテーション
やまもと なおえ 山本 直愛	株式会社ルピナス	企業	長息生活の今後の展望と近況のご報告

共催：株式会社ルピナス

9月23日(金) 9:40~10:40

第6会場 (3階 303)

スポンサードセミナー 2

座長：才藤 栄一 (藤田医科大学医学部医学科リハビリテーション医学 I)

演者	所属	職種	演題
いのもと ようこ 稲本 陽子	藤田医科大学保健衛生学部リハビリテーション学科リハビリテーション医学	言語聴覚士	嚥下中の喉頭動態を可視化し評価・練習に活用できる嚥下運動モニター

共催：インターリハ株式会社

9月23日(金) 10:50~11:50

第6会場 (3階 303)

スポンサードセミナー 3

「嚥下調整食と医工連携」

座長：房 晴美 (羽衣国際大学人間生活部食物栄養学科)

演者	所属	職種	演題
ふじたに じゅんこ 藤谷 順子	国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院リハビリテーション科	医師	嚥下障害と私たちの食事

共催：ギフモ株式会社

スポンサードセミナー SS

9月23日(金) 12:00～13:00

第6会場 (3階 303)

スポンサードセミナー 4

座長：山脇 正永 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科)

演者	所属	職種	演題
ひょうどう まさみつ 兵頭 政光	高知大学医学部耳鼻咽喉科学教室	医師	嚥下障害診療における VE 評価の実際と臨床での活用

共催：株式会社 明治

9月23日(金) 13:30～14:30

第6会場 (3階 303)

スポンサードセミナー 5

「コード2 相当の新しい調理法, お粥ゼリーを用いた「加水ゼロ式調理法」の可能性」

座長：栢下 淳 (県立広島大学地域創生学部地域創生学科健康科学コース)

演者	所属	職種	演題
えがしら ふみえ 江頭 文江	地域栄養ケア PEACH 厚木	管理栄養士	コード2 相当の新しい調理法, お粥ゼリーを用いた「加水ゼロ式調理法」の可能性
しほはま なほこ 塩濱 奈保子	社会福祉法人恩賜財団京都済生会病院栄養科	管理栄養士	
くぼしま のぶお 久保島 伸雄	中野区かみさぎ特別養護老人ホーム健康推進課	管理栄養士	

共催：株式会社フードケア

9月23日(金) 14:40～15:40

第6会場 (3階 303)

スポンサードセミナー 6

座長：上田 貴之 (東京歯科大学老年歯科補綴学講座)

演者	所属	職種	演題
きのせ たかし 木之瀬 隆	一般財団法人日本車椅子シーティング財団	作業療法士	座って食べるシーティング～介護保険のシーティングでみんな座って食べましょう～

共催：株式会社フロンティア

スポンサードセミナー SS

9月23日(金) 15:50~16:50

第6会場 (3階 303)

スポンサードセミナー 7

座長：津田 豪太 (聖隷佐倉市民病院耳鼻咽喉科・摂食嚥下センター・リハビリテーションセンター)

演者	所属	職種	演題
まつお こういちろう 松尾 浩一郎	東京医科歯科大学大学院地域・ 福祉口腔機能管理学分野 東京医科歯科大学病院オーラル ヘルスセンター	歯科医師	嚥下機能だけでなく口腔環境の評価もしていますか？ - 口腔評価の臨床・研究応用を知る -

共催：アサヒグループ食品株式会社

9月23日(金) 18:10~19:10

第6会場 (3階 303)

スポンサードセミナー 8

「高齢者の嚥下課題と嚥下食」

座長：藤島 一郎 (社会福祉法人聖隷福祉事業団浜松市リハビリテーション病院)

演者	所属	職種	演題
かやした じゅん 栢下 淳	県立広島大学地域創生学部	管理栄養士	嚥下食の課題と課題解決に向けた最新の嚥下食とは!?

共催：ネスレ日本株式会社 ネスレ ヘルスサイエンス カンパニー

9月24日(土) 9:00~10:00

第6会場 (3階 303)

スポンサードセミナー 9

座長：丸山 道生 (医療法人財団緑秀会田無病院)

演者	所属	職種	演題
まえだ けいすけ 前田 圭介	国立長寿医療研究センター	医師	摂食嚥下リハビリテーションにおける攻めの栄養管理の重要性

共催：日清オイリオグループ株式会社

スポンサードセミナー SS

9月24日(土) 10:10～11:10

第6会場 (3階 303)

スポンサードセミナー 10

「高アミロース米粉のゲル化特性と嚥下食への利用」

座長：藤谷 順子 (国立国際医療研究センター)

西村 一弘 (駒沢女子大学)

演者	所属	職種	演題
もとかわ けいこ 本川 佳子	東京都健康長寿医療センター	管理栄養士	米粉 100%で作れる嚥下食 (米粉ゼリー) の開発
あしだ かなえ 芦田 かなえ	農研機構	食品研究者	
つぼかわ みさお 坪川 操	福井大学附属病院	医師	
ふじわら けいこ 藤原 恵子	緑風荘病院	管理栄養士	

共催：「米粉でやさしい嚥下食」コンソーシアム

9月24日(土) 11:20～12:20

第6会場 (3階 303)

スポンサードセミナー 11

「令和4年度版 摂食嚥下支援チームと薬剤師の連携」

座長：兵頭 政光 (高知大学医学部耳鼻咽喉科学)

演者	所属	職種	演題
とみい あり 富井 ルミ	公立大学法人横浜市立大学附属病院	看護師	制度改定前後の薬剤師との関わり 薬剤師に期待すること
きんばら ひろこ 金原 寛子	公立松任石川中央病院薬剤室	薬剤師	薬剤師におまかせください！ 嚥下にいい薬・悪い薬と服薬支援

共催：日医工株式会社

スポンサードセミナー SS

9月24日(土) 12:30~13:30

第6会場 (3階 303)

スポンサードセミナー 12 「あなたの知らない炭酸トロミの世界」

座長：前田 圭介 (国立長寿医療研究センター老年内科)

戸原 玄 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野)

演者	所属	職種	演題
まえだ けいすけ 前田 圭介	国立長寿医療研究センター老年内科	医師	あなたの知らない炭酸トロミの世界
とほら げん 戸原 玄	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野	歯科医師	

共催：株式会社クリニコ

9月24日(土) 13:50~14:50

第6会場 (3階 303)

スポンサードセミナー 13

座長：倉田 なおみ (昭和大学薬学部社会健康薬学講座社会薬学部門 / 臨床薬学講座臨床栄養代謝学部門)

演者	所属	職種	演題
いんもち ようこ 稲本 陽子	藤田医科大学保健衛生学部リハビリテーション学科	言語聴覚士	服薬困難感に対する服薬補助ゼリーの有効性 PILL-5 日本語版アセスメントツールを用いた検討

共催：ニュートリー株式会社

9月24日(土) 15:00~16:00

第6会場 (3階 303)

スポンサードセミナー 14

座長：後藤 芳一 (日本福祉大学大学院医療・福祉マネジメント研究科)

増田 裕次 (松本歯科大学顎口腔機能制御学講座)

演者	所属	職種	演題
こうとう よしかず 後藤 芳一	日本福祉大学大学院医療・福祉マネジメント研究科	工学博士	オーラルフレイル対策から咀嚼嚥下モニタリング、 嚥下食の3Dプリンティングまで！ - JST-SICORP (JPMJSC1813) の成果報告
まつお こういちろう 松尾 浩一郎	東京医科歯科大学大学院地域・福祉口腔機能管理学分野	歯科医師	
いいじま かつや 飯島 勝矢	東京大学未来ビジョン研究センター、高齢社会総合研究機構	医師	
すずき けんじ 鈴木 健嗣	筑波大学システム情報系 / サイバニクス研究センター	工学博士	

共催：JST-SICORP 「自立高齢者を増やすための革新的システムの開発チーム」

スポンサードセミナー SS

9月24日(土) 16:10~17:10

第6会場 (3階 303)

スポンサードセミナー 15

座長：佐藤 幸浩 (かみいち総合病院)

演 者	所 属	職 種	演 題
みこだ あやこ 迫田 綾子	POTT プロジェクト日本赤十字 字広島看護大学名誉教授	看護師	ポジショニングで食べる喜びを伝える POTT プログラムの進化 - 開発から実践、伝承、SDG s へ -

共催：株式会社メディカルサービス明和
医療法人社団 明和会 大野浦病院
第一ボデー株式会社

イブニングアワー EH

9月23日(金) 18:10~19:10

第5会場 (3階 302)

イブニングアワー

座長：松尾 浩一郎 (東京医科歯科大学大学院地域・福祉口腔機能管理学分野 / 東京医科歯科大学病院オーラルヘルスセンター)

演者	所属	職種	演題
おかもと たかき 岡本 高樹	アサヒビール(株) 酒類技術研究所技術第一部	メーカー研究員	ビールの美味しさとは？ スーパードライのウマさのヒミツ

共催：アサヒグループ食品株式会社

交流セミナー EXS

9月23日(金) 17:00～18:00

第5会場 (3階 302)

交流セミナー 1



「他職種に知ってもらいたい口腔機能を考えた口腔内装置の仕組み」

座長：弘中 祥司 (昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座口腔衛生学部門)

演題番号	演者	所属	職種	演題
EXS1-1	ふじもと あつし 藤本 篤士	札幌西田山病院歯科	歯科医師	咀嚼・嚥下機能を考慮した口腔内装置の仕組み

9月23日(金) 17:00～18:00

第6会場 (3階 303)

交流セミナー 2



「他職種に知ってもらいたい耳鼻咽喉科・頭頸部外科医との連携による嚥下・構音・音声障害へのリハビリテーション」

座長：清水 充子 (埼玉県総合リハビリテーションセンター言語聴覚科)

演題番号	演者	所属	職種	演題
EXS2-1	しみず みつこ 清水 充子	埼玉県総合リハビリテーションセンター	言語聴覚士	認定言語聴覚士摂食嚥下障害領域のこれまでそしてこれから
EXS2-2	かとう ちえり 加藤 智絵里	大阪大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	言語聴覚士	頭頸部癌の周術期と化学放射線療法後のリハビリテーション
EXS2-3	きよみや ゆうと 清宮 悠人	聖隷佐倉市民病院	言語聴覚士	耳鼻咽喉科医師とのチームで目指す“再び食べたい”を支える取り組み

9月23日(金) 17:00～18:00

第7会場 (1階 102)

交流セミナー 3



「多職種に知ってもらいたい摂食嚥下リハビリテーション栄養専門管理栄養士とその活動」

座長：江頭 文江 (地域栄養ケア PEACH 厚木)

演題番号	演者	所属	職種	演題
EXS3-1	うえしま じゅんこ 上島 順子	NTT 東日本関東病院栄養部	管理栄養士・栄養士	専門管理栄養士の役割と取り組み
EXS3-2	とよしま みづえ 豊島 瑞枝	東京医科歯科大学病院臨床栄養部	管理栄養士・栄養士	活動報告～摂食嚥下障害患者との関わりについて～

交流セミナー EXS

9月23日(金) 17:00～18:00

第8会場 (1階 103)

交流セミナー 4



「他職種に知ってもらいたい地域における歯科衛生士の活動」

座長：山口 朱見 (医療法人財団千葉健愛会あおぞら診療所)

演題番号	演者	所属	職種	演題
EXS4-1	たかはし あきこ 高橋 亜希子	医療法人社団千松会松下歯科医院	歯科衛生士	ダウン症の方への訪問支援
EXS4-2	しいはし けいこ 椎橋 桂子	大友歯科医院	歯科衛生士	多職種連携で食支援～ラーメン食べたい～
EXS4-3	なかむら いくこ 中村 郁子	兼久歯科医院訪問歯科診療 口腔健康管理専門部	歯科衛生士	食べさせることに不安を抱くご家族に対して 訪問歯科衛生士としてできること

9月23日(金) 17:00～18:00

第9会場 (1階 104)

交流セミナー 5



「他職種に知ってもらいたい姿勢と嚥下の関係性」

座長：内田 学 (東京医療学院大学保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻)

演題番号	演者	所属	職種	演題
EXS5-1	うちだ まなぶ 内田 学	東京医療学院大学	理学療法士	摂食嚥下障害に対する姿勢を意識した理学療法
EXS5-2	さとう あきひろ 佐藤 彰紘	日白大学保健医療学部作業 療法学科	作業療法士	摂食嚥下障害に対する姿勢を意識した作業療法

9月23日(金) 17:00～18:00

第10会場 (1階 105)

交流セミナー 6



「他職種に知ってもらいたい看護力～その人らしい生活を支援するために看護師ができること～」

座長：青山 真弓 (東海大学医学部付属病院看護部)

演題番号	演者	所属	職種	演題
EXS6-1	たけうち ゆき 竹内 由紀	川崎幸病院看護部	看護師・保健師	多職種連携における看護師のあり方
EXS6-2	たけいち みか 竹市 美加	訪問看護ステーションたべる	看護師・保健師	地域でのその人らしく生きるための食支援
EXS6-3	ちば ゆみ 千葉 由美	横浜市立大学大学院医学研 究科看護学専攻先端成人看護学	看護師・保健師	高度看護実践者としての役割を目指して

ポストコンGRESS PC

9月24日(土) 17:30~19:30

第3会場 (2階 201)

ポストコンGRESS 1

「嚥下研究のキホン / プランニングから学会発表まで」

演題番号	演者	所属	職種	演題
PC1-1	しばもと いさひ 柴本 勇	聖隷クリストファー大学言語聴覚学科	言語聴覚士	嚥下研究に興味を持たれたあなたへのエール：過去・現在・未来を語る
PC1-2	かねおか あさこ 兼岡 麻子	東京大学医学部附属病院リハビリテーション部	言語聴覚士	実習形式で学ぶ 嚥下臨床研究のプランニングと実践
PC1-3	ひらた あや 平田 文	国際医療福祉大学保健医療学部言語聴覚学科	言語聴覚士	学会発表で輝くために

9月24日(土) 17:30~19:30

第2会場 (2階 国際会議室)

ポストコンGRESS 2

「成人・小児のケアをするメディカルスタッフのための must to know」

座長：渡邊 賢礼 (昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座口腔衛生学部門)

中尾 真理 (東北大学医工学研究科リハビリテーション医工学分野)

演題番号	演者	所属	職種	演題
PC2-1	なかお まり 中尾 真理	東北大学大学院医工学研究科リハビリテーション医工学分野	医師	成人の摂食嚥下障害患者さんのケアをするメディカルスタッフが臨床現場で遭遇する must to know
PC2-2	わたなべ まさひろ 渡邊 賢礼	昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座口腔衛生学部門	歯科医師	小児の摂食嚥下障害患者さんのケアをするメディカルスタッフの Impossible を I'm possible に変えよう！

一般演題 口演発表 9月23日(金) 第7会場

9月23日(金) 8:30~9:20

1. 急性期1



座長：寺中 智（足利赤十字病院リハビリテーション科）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O1-1	たなか よしたか 田中 義隆	神戸赤十字病院リハビリテーション科	言語聴覚士	脳卒中急性期患者における口腔衛生状態と摂食嚥下機能との関連性
O1-2	さかい はるか 坂井 遙	新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野	歯科衛生士	急性期脳卒中入院患者の経口摂取再開に関連する因子の検討
O1-3	いがわ きき 井川 咲	社会医療法人春回会井上病院リハビリテーション科	言語聴覚士	急性期病院入院患者における誤嚥に関連する因子の検討
O1-4	みやぎ みどり 宮城 翠	東邦大学医療センター大森病院リハビリテーション科	医師	心臓血管外科術後患者における周術期の栄養状態と術後嚥下障害との連関の検討
O1-5	あおやま まりな 青山 麻梨奈	藤田医科大学岡崎医療センターリハビリテーション部	言語聴覚士	急性期病院で摂食嚥下障害が疑われた患者への嚥下評価の有用性

9月23日(金) 9:30~10:40

2. 基礎研究1



座長：堀口 利之（横浜市立大学附属病院耳鼻いんこう科）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O2-1	おおた きくお 太田 喜久夫	藤田医科大学医学部ロボット技術活用地域リハビリ医学	医師	上喉頭神経干渉波刺激がRSSTに与える影響-B4Sを用いた検討
O2-2	とみ けんしん 富 謙伸	公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院リハビリテーション科	理学療法士	姿勢変化が嚥下機能へ及ぼす影響-喉頭挙上と呼吸ポーズ時間の関連-
O2-3	なかむら かつや 中村 克哉	川崎医科大学附属病院リハビリテーションセンター	言語聴覚士	健常成人女性における座位姿勢の脊柱矢状面のアライメントが摂食嚥下機能に及ぼす影響：横断的研究
O2-4	くらもと なおみ 倉本 尚美	茨城県立医療大学保健医療学部人間科学センター	看護師・保健師	頸部装着型デバイスによる食事動作時の頸部角度分析
O2-5	よしかわ こうへい 吉川 浩平	広島大学病院診療支援部リハビリテーション部門	言語聴覚士	舌挙上訓練が舌骨上筋群の運動単位の活動動態に及ぼす影響 -高密度表面筋電図法を使用した解析-
O2-6	あしが ひろかず 阿志賀 大和	国際医療福祉大学成田保健医療学部言語聴覚学科	言語聴覚士	発声時の舌突出によるnasalance scoreへの影響
O2-7	たむら しげる 田村 茂	藤田医科大学病院看護部	看護師・保健師	リクライニング角度表示及びヘッドリフト機能付きベッドによる姿勢調整の再現性の検討

一般演題 口演発表 9月23日(金) 第7会場

9月23日(金) 10:40~11:50

3. 基礎研究2



座長：玄 景華（朝日大学歯学部口腔病態医療学講座障害者歯科学分野）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O3-1	みちわき ゆきひろ 道脇 幸博	みちわき研究所	歯科医師	嚥下のコンピュータシミュレーション Swallow Vision を使った骨・軟組織の協調運動の定量的評価法の検討
O3-2	みちわき ゆきひろ 道脇 幸博	みちわき研究所	歯科医師	嚥下時の内・外舌筋の筋活動の同定と可視化
O3-3	す さ ちあき 須佐 千明	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野	歯科医師	4次元CTの領域分割による咀嚼嚥下中の食塊と骨・軟組織の可視化
O3-4	こもり さやか 小森 彩加	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野	歯科医師	4次元CTの領域分割で抽出された嚥下中の食塊の通過経路と臨床応用の可能性
O3-5	たけまさ まこと 武政 誠	東京電機大学	大学・専門学校等教員	構造化照明を利用した咀嚼挙動の非侵襲立体形状時分割測定法の開発
O3-6	えんどう たかゆき 遠藤 貴之	医療法人社団苑田会苑田第一病院リハビリテーション部	言語聴覚士	超音波画像診断装置を用いた口腔含嗽時における舌を中心とした嚥下関連器官の運動観察の一考察
O3-7	よしむら たつひで 芳村 竜秀	東京歯科大学口腔健康科学講座摂食嚥下リハビリテーション研究室	歯科医師	食物画像認知時の食べる意欲と脳活動変化を評価する

9月23日(金) 13:20~14:10

4. 連携・チームアプローチ1



座長：尾崎 研一郎（足利赤十字病院リハビリテーション科）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O4-1	み せ かずひと 三瀬 和人	愛媛県立中央病院リハビリテーション部	言語聴覚士	チーム活動にコーチングを導入することによって医療の質の向上と個人の自己実現につながった経験について
O4-2	や の ちかこ 矢野 慎子	富家病院栄養科	管理栄養士・栄養士	コーチング後の業務意識改革！～回復期リハビリ病棟における管理栄養士の役割～
O4-3	えとう ともこ 江藤 倫子	医療生協さいたま埼玉西協同病院	歯科衛生士	自分に気づくコーチングで周りが動き出す
O4-4	おおにし たつや 大西 達也	フォース歯科	歯科医師	チーム医療実践リーダー育成研修の実践とコーチング成果
O4-5	おおの みちとし 大野 通敏	瑞鳳会松岡整形外科・内科リハビリテーション	医師	「外部コーチ」としての多職種連携の経験

一般演題 口演発表 9月23日(金) 第7会場

9月23日(金) 14:30~15:20

5. 医工産学連携



座長：川上 途行 (慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O5-1	こんどう たけお 近藤 健男	竹田綜合病院	医師	嚥下造影検査に対する人工知能診断システムの開発
O5-2	かなざわ ひであき 金沢 英哲	Swallowish Clinic	医師	誤嚥防止手術日から Voice Retriever(VR) 試用を開始する取り組み
O5-3	ふじおか せいじ 藤岡 誠二	摂食嚥下のミカタ	言語聴覚士	VF 検査時のサーモグラフィー撮影による嚥下リハビリ予後予測の可能性
O5-4	さいとう なるみ 齋藤 成美	竹田綜合病院	作業療法士	スタンダード車いすの違いによる摂食嚥下機能への影響の検討
O5-5	さとう よしとも 佐藤 義朝	いわてリハビリテーションセンター	医師	食器用チルトテーブルの使用による摂食動作改善効果 (第2報)

9月23日(金) 15:30~16:40

6. 生活期 終末期1



座長：阪口 英夫 (医療法人永寿会陵北病院)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O6-1	にしやま こういちろう 西山 耕一郎	西山耳鼻咽喉科医院	医師	在宅老衰例における嚥下障害の対応
O6-2	やまだ あつみ 山田 あつみ	さくら中央クリニック歯科室	歯科衛生士	歯科衛生士によるコミュニケーション困難な方への関わり方 —専門的口腔ケアと医療コーチングの活用—
O6-3	しきだ あき 敷田 亜樹	患者	その他	嚥下訓練における患者被験者視点の気づきと嚥下指数の提案
O6-4	あらかわ ゆうこ 荒川 裕子	岡谷市民病院特殊歯科口腔外科	歯科医師	終末期がん患者の心身変化に寄り添い、経口摂取をサポートした一例
O6-5	いしい みき 石井 美紀	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野	歯科医師	嚥下障害患者が着替えて装うことは誤嚥の有無に関連するか
O6-6	ふじおか せいじ 藤岡 誠二	摂食嚥下のミカタ	言語聴覚士	食前の口腔ケアについての考察
O6-7	しもだ しづか 下田 静	医療法人社団ちとせ会熱海ちとせ病院栄養科	管理栄養士・栄養士	摂食嚥下障害に対し棒付き飴継続摂取がもたらす可能性

一般演題 口演発表 9月23日(金) 第8会場

9月23日(金) 8:30~9:40

7. 卒前卒後教育 1



座長：内山 靖 (名古屋大学大学院医学系研究科予防・リハビリテーション科学)

演題番号	演者	所属	職種	演題
07-1	みやじ ゆか 宮路 結香	公益財団法人東京都保健医療公社豊島病院	言語聴覚士	コーチング研修前後のコミュニケーションの変化
07-2	かいげ めぐみ 界外 恵	医療法人讀和会友愛会病院	言語聴覚士	コーチングから得られたリハビリ職種による新しい楽しみ食べ支援の価値
07-3	あおき ゆうすけ 青木 佑介	鈴鹿中央総合病院リハビリテーション科	作業療法士	コロナ禍におけるリハビリ科の組織運営～病棟担当性のデメリット解消のためのコーチング～
07-4	やました ゆうこ 山下 裕子	介護老人保健施設ライフサポートねりま	看護師・保健師	コーチングの活用による摂食嚥下チームメンバーの変化—介護士による勉強会計画を通して—
07-5	ひらお ゆみ 平尾 由美	社会医療法人清風会日本原病院	言語聴覚士	コーチングにより進化する終末期の「食べる」
07-6	おおにし たつや 大西 達也	フォース歯科	歯科医師	臨床研修歯科医師指導におけるコーチングによるコミュニケーションの質の向上
07-7	おおにし みちお 大西 道雄	風連歯科診療所	歯科医師	コーチングによる組織の成長と地域医療への貢献

9月23日(金) 9:40~10:40

8. 連携・チームアプローチ 2



座長：高柳 久与 (太田歯科)

演題番号	演者	所属	職種	演題
08-1	みなほし やすひろ 舟橋 康弘	地方独立行政法人堺市立病院機構堺市立総合医療センター看護局	看護師・保健師	当院における摂食嚥下支援チームの活動と今後の課題
08-2	ただあきら 多田 瑛	朝日大学歯学部口腔外科学分野	歯科医師	当院における摂食嚥下支援チーム (SST) の設立と介入フローチャートの作成
08-3	いぬかい てるみ 犬飼 晃見	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院リハビリテーション科	言語聴覚士	当院の摂食嚥下障害ケアチームの活動報告第二報 —言語聴覚士の立場から—
08-4	きくち ともみ 菊池 知美	公益財団法人星総合病院	看護師・保健師	摂食嚥下サポートチームの活動によりもたらされた効果
08-5	こやま ゆみなな 小山 佑美奈	名手病院	言語聴覚士	食事介助知識についての調査と情報共有方法の検討
08-6	どい ひかる 土居 ひかる	社会医療法人緑社会金田病院栄養科	管理栄養士・栄養士	療養病棟における嚥下障害患者に対する継続的な嚥下チームの関わり

一般演題 口演発表 9月23日(金) 第8会場

9月23日(金) 10:50~11:50

9. 神経・筋疾患1



座長：飯泉 智子（北海道医療大学リハビリテーション科学部言語聴覚療法学科）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O9-1	かめたに こうじ 亀谷 浩史	富山県リハビリテーション病院・子ども支援センター	言語聴覚士	視神経脊髄炎により重度嚥下障害を呈した一例の長期経過
O9-2	よこざき めぐみ 横関 恵美	京都府立医科大学附属病院リハビリテーション部	医師	嚥下障害を合併した炎症性筋疾患の臨床的特徴
O9-3	ちあし ゆきえ 千足 友紀恵	公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院リハビリテーション科	言語聴覚士	重症筋無力症クリーゼ発症後の嚥下障害に対して段階的な食上げを行い、経口摂取が自立となった症例
O9-4	やまざき ゆか 山崎 由香	公立陶生病院中央リハビリテーション部言語訓練室	言語聴覚士	長期の摂食嚥下訓練が奏功し経口摂取が確立した壊死性自己免疫性筋炎の1例
O9-5	やまもと ひろかず 山本 寛和	兵庫県立リハビリテーション中央病院リハビリ療法部言語聴覚療法学科	言語聴覚士	多発性脳神経障害を呈し重度の嚥下障害を伴った RamseyHunt 症候群の1例
O9-6	まえだ あかよ 前田 知馨代	朝日大学歯学部口腔病態医療学講座障害者歯科学分野	歯科医師	訪問診療にて摂食嚥下機能評価を実施した筋萎縮性側索硬化症への介入

プログラム

9月23日(金) 13:30~14:20

10. 地域（地域リハ・在宅）オンライン診療



座長：阿部 仁子（日本大学歯学部摂食機能療法学講座）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O10-1	たかはし みずほ 高橋 瑞保	合同会社訪問栄養ステーションえん	管理栄養士・栄養士	オンラインによる在宅での嚥下指導の試み
O10-2	あこう かずき 赤穂 和樹	昭和大学歯学部高齢者歯科学講座	歯科医師	施設入居者における動画撮影による口腔評価の有効性
O10-3	ふじさわ ゆうこ 藤澤 ゆう子	愛媛県立南宇和病院	看護師・保健師	遠隔医療支援システムを活用した摂食嚥下障害看護認定看護師の取り組み
O10-4	のざき そのこ 野崎 園子	わかくさ竜間リハビリテーション病院	医師	摂食嚥下障害ケアにおける訪問医療スタッフのオンライン診療へのニーズに関する調査研究
O10-5	みうら やすひろ 三浦 康寛	なかたに歯科クリニック訪問部	歯科医師	ICTを用いた多職種連携にて経口摂取可能となった脳出血後の患者の1例

一般演題 口演発表 9月23日(金) 第8会場

9月23日(金) 14:30～15:10

11. 発達障害1



座長：門野 泉（愛知県医療療育総合センター中央病院）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O11-1	のむら 野村 あゆみ	大阪赤十字病院附属大手前 整肢学園医務部訓練課	言語聴覚士	障がいのある乳幼児に対する離乳食の進め方 ～親子入院での取り組み～
O11-2	はやかわ みか 早川 美佳	東京都立北療育医療セン ター通園科	医師	母乳以外の摂食拒否がみられた自閉スペクト ラム症1例に対する親子通園での食事支援
O11-3	しろかわ まゆみ 城川 真由美	NPO 法人ゆめのめ	歯科衛生士	障害児デイサービスにおける摂食の取り組み
O11-4	みやさか みほ 宮阪 美穂	医療法人社団まごころまご ころ訪問看護ステーション	言語聴覚士	地域で学ぶ！スペシャルニーズ児の食支援

9月23日(金) 15:30～16:40

12. 看護



座長：浅田 美江（公益社団法人愛知県看護協会訪問看護総合支援センター）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O12-1	とみい 富井 ルミ	公立大学法人横浜市立大学 附属病院	看護師・保健師	摂食嚥下障害看護特定認定看護師として入院 から在宅まで切れ目のない医療を提供するた めの課題
O12-2	うちこし 打越 ともこ	市立千歳市民病院	看護師・保健師	急性期治療での意思決定支援における看護師 の役割～経口摂取を強く希望した事例を通し て～
O12-3	まつもと ひろみ 松本 裕美	千葉市立青葉病院看護部	看護師・保健師	プロセスモデルを用いた看護師による観察の 検討
O12-4	のぐち えみ 野口 恵美	東京慈恵会医科大学附属柏 病院 ICU	看護師・保健師	嚥下に関するツールを導入したことによる看 護師の認識と行動の変化
O12-5	みうら ともえ 三浦 智恵	トヨタ記念病院	看護師・保健師	看護師が実践する嚥下評価定着に向けた取り 組み
O12-6	かわはら たかのり 川原 毅得	医療法人徳洲会八尾徳洲会 総合病院	看護師・保健師	摂食嚥下障害看護認定看護師が特定行為を推 進するための課題
O12-7	やまぎし さとみ 山岸 里美	地方独立行政法人長野県立 病院機構長野県立信州医療 センター	看護師・保健師	特定行為研修を修了した摂食嚥下障害看護認 定看護師の活動報告 特定行為を地域で実施するために

一般演題 口演発表 9月23日(金) 第9会場

9月23日(金) 8:30~9:40

13. 感染症 1



座長：瀬田 拓 (ないとうクリニック)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O13-1	クーダー鎌倉 千紗子	順天堂大学医学部附属浦安病院リハビリテーション科	言語聴覚士	SARS-CoV-2 ワクチン接種後に発症した Guillain-Barré 症候群で、重度嚥下障害を呈した 70 歳代女性の 1 例
O13-2	ときおか 愛	淀川平成病院リハビリテーション部	言語聴覚士	COVID-19 肺炎後に重篤な嚥下障害をきたし、9 か月後に改善を認めた症例
O13-3	やまもと 美和	旭労災病院	言語聴覚士	COVID-19 感染症蔓延下における退院前嚥下カンファレンスでのオンライン見学の効果
O13-4	ふなみず 良太	札幌医科大学付属病院看護部	看護師・保健師	重症 COVID-19 患者に対して、早期嚥下機能評価が有効であった 1 例
O13-5	いとう 百合子	藤田医科大学病院リハビリテーション部	言語聴覚士	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) と誤嚥性肺炎併発患者に隔離期間中からリハビリテーションを行った 1 例
O13-6	ふじい 睦	兵庫県立リハビリテーション中央病院リハビリテーション科	医師	主に準備期から咽頭期障害を呈した重症 COVID-19 後の嚥下障害の 1 例
O13-7	はやし 宏和	医療法人林歯科医院	歯科医師	Covid-19 感染症罹患者後の肺炎が遷延した胃ろう管理患者に対して経口摂取訓練を進めた結果肺炎症状が軽快した一例

9月23日(金) 9:40~10:40

14. 治療 (訓練) 1



座長：福永 真哉 (川崎医療福祉大学リハビリテーション学部言語聴覚療法学科)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O14-1	なかむら しの 中村 志野	浜松市リハビリテーション病院リハビリテーション部	言語聴覚士	進行性核上性麻痺と全身性サルコペニアによる嚥下障害に対しバルーン訓練と完全側臥位法が有効であった 1 例
O14-2	おかもと 圭史	浜松市リハビリテーション病院リハビリテーション部	言語聴覚士	サルコペニアの嚥下障害に対して栄養療法とバルーン訓練が有効であった 1 症例
O14-3	くしだ 幸	独立行政法人国立病院機構 埼玉病院	医師	化学療法中の口内炎による経口摂取不能で廃用性の食道入口部開大不全をきたしバルーン法を施行した一例
O14-4	たぐち 義久	医療法人社団厚善会介護老人保健施設末広荘	言語聴覚士	振動刺激を用いた新たな嚥下リハビリの可能性
O14-5	たぐち 義久	医療法人社団厚善会介護老人保健施設末広荘	言語聴覚士	長期の意識障害後、舌への振動刺激にて経口摂取に至った急性硬膜下血腫の一例
O14-6	ひらた 夢	永寿総合病院柳橋分院	言語聴覚士	舌圧測定器を用いた舌抵抗訓練により舌圧の向上が得られた 2 症例

一般演題 口演発表 9月23日(金) 第9会場

9月23日(金) 10:50~11:40

15. 脳卒中1



座長：小口 和代 (刈谷豊田総合病院リハビリテーション科)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O15-1	かつた ゆり 勝田 有梨	社会医療法人若弘会わかく さ竜間リハビリテーション 病院	言語聴覚士	脳血管疾患等による気管カニューレ装着患者 における喉頭の経時的变化
O15-2	はやし あきとし 林 暁利	聖隷横浜病院耳鼻咽喉科	医師	重度嚥下障害気管切開症例の対応法の試み
O15-3	たかなぎ ありふみ 高柳 有史	藤田医科大学病院	言語聴覚士	橋梗塞における摂食嚥下障害の病巣部位によ る検討
O15-4	たむら ともみ 田村 友美	東京曳舟病院	言語聴覚士	吃逆と嚥下障害を呈した延髄外側梗塞の4症 例
O15-5	くぼ みちや 久保 道也	富山県済生会富山病院脳神 経外科	医師	Aberrant right subclavian artery 成人例にお ける嚥下障害

9月23日(金) 13:30~14:30

16. 臨床研究1



座長：近藤 国嗣 (東京湾岸リハビリテーション病院)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O16-1	すずき たく 鈴木 拓	新潟大学歯学総合病院摂 食嚥下機能回復部	歯科医師	神経変性疾患患者における舌圧と摂食嚥下障 害との関連
O16-2	おおの じゅんき 大野 純希	長崎大学病院	医師	頭頸部癌化学放射線療法中に生じた誤嚥性肺 炎症例の検討
O16-3	ひめだ ゆうき 姫田 祐樹	医療法人泉恵会堺平成病院	言語聴覚士	誤嚥性肺炎患者における早期経口摂取獲得の 予測因子—予備研究
O16-4	しまむら ともき 嶋村 知記	社会医療法人財団白十字会 白十字病院	歯科医師	高齢誤嚥性肺炎患者における歯の喪失による 嚥下障害と低栄養との関連性
O16-5	すぎやま ひろみ 杉山 裕美	平塚市民病院	言語聴覚士	認知症を伴う患者の経鼻経管栄養離脱方法の 検討 —食事摂取が安定する前の経管栄養抜去につ いて—
O16-6	つかたに としあき 塚谷 才明	公立松任石川中央病院耳鼻 咽喉科	医師	誤嚥性肺炎患者の生命予後 —パーキンソン 病患者における検討—

一般演題 口演発表 9月23日(金) 第9会場

9月23日(金) 14:40~15:30

17. 臨床研究 2



座長：大野 友久（浜松市リハビリテーション病院歯科）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O17-1	とみた けんじ 富田 健嗣	一般社団法人愛知県歯科医師会	歯科医師	舌機能の低下は歯周病原因菌数の増加に関連する
O17-2	もりとよ りえこ 森豊 理英子	東京医科歯科大学摂食嚥下リハビリテーション学分野	歯科医師	機能的咬合支持の無い高齢者の閉口力と食事形態の関連性
O17-3	かわしま みな 川嶋 美奈	東京医科歯科大学大学院摂食嚥下リハビリテーション学分野	歯科医師	「閉口力」は高齢者の口腔機能の指標として有用か
O17-4	おぬき わかな 小貫 和佳奈	新潟大学大学院歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野	歯科医師	口腔機能低下症患者に対する管理指導による効果の検討
O17-5	ありみつ しおり 有光 史織	文京学院大学大学院保健医療科学研究科	検査技師	誤嚥性肺炎における ADL との細菌学的関連性の検討

プログラム

9月23日(金) 15:40~16:40

18. 口腔・頭頸部疾患 1



座長：辻 哲也（慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O18-1	たけいち みか 竹市 美加	訪問看護ステーションたべる	看護師・保健師	咽頭癌放射線療法後の晩発性障害による重度嚥下障害により誤嚥性肺炎を繰り返した患者への包括的食支援
O18-2	こばやし えりこ 小林 絵里子	国際医療福祉大学成田病院リハビリテーション技術部	言語聴覚士	嚥下後誤嚥が顕著な声門上癌に対して、完全側臥位から座位での食事摂取が可能となった一例
O18-3	まえかわ かずや 前川 和也	新潟大学歯学総合病院摂食嚥下機能回復部	歯科医師	降下性壊死性縦隔炎による嚥下障害に対しバルーン訓練で対応した症例
O18-4	こだま なりひろ 児玉 成博	熊本保健科学大学保健科学部リハビリテーション学科言語聴覚学専攻	言語聴覚士	喉頭癌に対する SCL-CHEP 後の嚥下訓練および長期的な嚥下機能
O18-5	かわべ きくこ 河辺 貴久子	社会福祉法人豊徳会秋芳の里	言語聴覚士	下咽頭癌術後・胃瘻栄養の在宅療養者における包括的食支援
O18-6	にしむら ともこ 西村 智子	社会福祉法人京都社会事業団西陣病院	医師	食道期の障害に対応した 2 症例

一般演題 口演発表 9月23日(金) 第10会場

9月23日(金) 8:30~9:20

19. 連携・チームアプローチ3



座長：山本 弘子 (元東京都立府中療育センター)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O19-1	さとう かずみ 佐藤 和美	医療法人社団 LSM 寺本内科 歯科クリニック	歯科衛生士	若年者脳梗塞後遺症への家族の心情に対して 発揮された多職種連携の威力
O19-2	みやた のり 宮田 法	社会医療法人寿量会熊本機能 病院	看護師・保健師	“自分で”食べることができるまで ～摂食動作困難事例へのチームアプローチ～
O19-3	ほんま ひさえ 本間 久恵	地域口腔サポート歯ブラシ とスプーン	歯科衛生士	パーキンソン病患者の経口摂取維持、多職種 連携の取り組み
O19-4	きしま まさこ 貴島 真佐子	社会医療法人若弘会わかく さ竜間リハビリテーション 病院	歯科医師	多職種連携により重度摂食嚥下障害を伴う筋 強直性ジストロフィー患者の安全な経口摂取 が可能となった一症例
O19-5	あらか まさみ 荒木 昌美	横浜市立大学附属市民総合 医療センター	看護師・保健師	認知機能障害患者の摂食嚥下リハビリテー ション～多職種カンファレンスの成果がみら れた一症例～

9月23日(金) 9:40~10:30

20. 評価1



座長：齧島 弘之 (松本歯科大学地域連携歯科学講座)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O20-1	たまい ともえ 玉井 斗萌	東京医科歯科大学歯学総合 研究科摂食嚥下リハビリ テーション学分野	歯科医師	携帯2段湾曲内視鏡は気管後壁の観察に有用 である
O20-2	よしもと たくと 吉本 拓登	関西医科大学大学院医学研 究科健康科学	理学療法士	非侵襲的かつ客観的な嚥下評価のためのイヤ ホン型センサの妥当性の検証
O20-3	いまだ みほ 今田 美穂	宇野病院リハビリテーショ ン部	言語聴覚士	LST 値、シリンジ法を用いた当院使用トロミ 茶とバリウム溶液の時間経過による物性変化
O20-4	おおはし みほ 大橋 美穂	日本医科大学大学院医学研 究科リハビリテーション学 分野	言語聴覚士	筋電図、音声、インピーダンス、高解像度マ ノメトリーの同時測定による嚥下反射の識別 精度の比較
O20-5	きしもと ゆうすけ 岸本 裕佑	岸和田平成病院リハビリ テーション部	言語聴覚士	超音波検査による嚥下機能評価法の開発

一般演題 口演発表 9月23日(金) 第10会場

9月23日(金) 10:50~11:50

21. 評価2

座長：谷口 裕重 (朝日大学歯学部摂食嚥下リハビリテーション学分野)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O21-1	こにし まさのり 小西 正訓	中村記念病院耳鼻咽喉科	医師	入院早期のFIM 利得と栄養状態の推移から見た虚血性・出血性脳血管障がい間における摂食機能予後の異同
O21-2				演題取り下げ
O21-3	きむら まさのり 木村 将典	高崎総合医療センター歯科 口腔外科	歯科医師	誤嚥性肺炎による入院患者のKT バランスチャートを用いた評価
O21-4	わだ ひろなり 和田 浩成	JA 愛知厚生連足助病院リ ハビリテーション室	言語聴覚士	誤嚥性肺炎発症と関連する嚥下スクリーニング検査の検証
O21-5	いまい ことこ 今井 琴子	牛久愛和総合病院口腔外科	歯科医師	誤嚥性肺炎の予防に対する摂食・嚥下スクリーニングシートの有用性
O21-6	ふるしょう なるみ 古庄 成美	医療法人桜十字桜十字病院	言語聴覚士	生活自立度の高い患者に対する包括的身体機能評価の重要性

9月23日(金) 13:30~14:30

22. 栄養(嚥下調整食) 1

座長：稲田 晴生 ((仮称) 桜十字白金リハビリテーション病院準備室)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O22-1	かとう まな 加藤 麻奈	森永乳業株式会社研究本 部健康栄養科学研究所	企業関係者	炭酸飲料を含めたとろみ調整飲料の評価方法に関する対応性の検証
O22-2	こうち まさあき 河内 雅章	香川県厚生連滝宮総合病 院脳神経外科	医師	反転回旋法による安全で迅速な炭酸飲料やビールへのとろみ付け
O22-3	からき ゆうま 唐木 裕麻	伊那中央病院	言語聴覚士	炭酸飲料への簡易的なトロミ付加法 ～ K-wave 法を用いて～
O22-4	こまはし れいこ 駒橋 玲子	公益財団法人日本健康・栄 養食品協会	管理栄養士 ・栄養士	特別用途食品「とろみ調整用食品」の普及拡大に向けた取り組みとその効果
O22-5	うめはら けん 梅原 健	三重中央医療センター	言語聴覚士	シリンジを用いた新たなとろみ調整方法 - 予備的実験 -
O22-6	よこやま あきこ 横山 明子	NTT 東日本関東病院看護 部	看護師・保健師	経腸栄養剤へのとろみ調整食品使用による粘性と経時的変化に対するシリンジ法を用いた検討

一般演題 口演発表 9月23日(金) 第10会場

9月23日(金) 14:30～15:30

23. 栄養・食事



座長：石野 智子（聖隷佐倉市民病院栄養科）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O23-1	よしの <small>かほ</small> 吉野 楓	浜松市リハビリテーション 病院リハビリテーション部	言語聴覚士	錠剤の喉頭蓋谷残留に対して簡易懸濁法が有効であった1症例
O23-2	いとう <small>あやこ</small> 伊藤 彩子	森永乳業株式会社研究本 部健康栄養科学研究所	企業関係者	食感用語を用いた栄養補助ゼリーの物性評価方法に関する基礎的検討
O23-3	なかがわ <small>ゆうこ</small> 中川 裕子	実践女子大学	大学・専門 学校等教員	ユニバーサルデザインフードの官能評価と力学的特性による有用性検証－主食について－
O23-4	やまさき <small>みか</small> 山崎 美加	公立みつぎ総合病院	言語聴覚士	当院回復期リハビリテーション病棟入院患者における嚥下機能とADL、栄養状態の関連
O23-5	ふじかわ <small>ゆうた</small> 藤川 雄大	独立行政法人国立病院機 構北海道がんセンター	言語聴覚士	口腔がん術後の咬合支持域と嚥下機能の関連について
O23-6	はまだ <small>ちひろ</small> 濱田 ちひろ	わかくさ竜間リハビリテー ション病院栄養課	管理栄養士 ・栄養士	3食経口摂取獲得における栄養因子の影響について

9月23日(金) 15:40～16:40

24. 治療(訓練) 2



座長：粟飯原 けい子（藤田医科大学保健衛生学部リハビリテーション学科）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O24-1	こいけ <small>なほ</small> 小池 奈歩	五反田リハビリテーション 病院リハビリテーション科	言語聴覚士	リハビリテーション病院での薬剤管理と食支援で経口摂取拒否が改善した1例
O24-2	わたなべ <small>まり</small> 渡部 麻梨	医療法人徳洲会武蔵野徳洲 会病院	看護師・保健師	エラーレス学習を活用し食事姿勢調整と食事時間短縮による誤嚥予防に効果を示した1例
O24-3	かたぎり <small>ひろゆき</small> 片桐 啓之	新潟県厚生連長岡中央総合 病院	言語聴覚士	氷の咀嚼訓練をきっかけに食形態を上げられた1症例
O24-4	くどう <small>かな</small> 工藤 佳奈	津軽保健生活協同組合健生 病院	言語聴覚士	冷凍ゼリーによる摂食訓練が有用であった延髄外側症候群患者の一例
O24-5	おさない <small>なつみ</small> 小山内 奈津美	津軽保健生活協同組合健生 病院	言語聴覚士	冷凍ゼリーによる摂食訓練が有用であった重度嚥下障害患者の一例
O24-6	おざわ <small>まほ</small> 小澤 真帆	社会医療法人若弘会わか くさ竜間リハビリテー ション病院	言語聴覚士	意識障害を有する気管切開患者に対する咽頭感覚向上アプローチ

一般演題 口演発表 9月24日(土) 第7会場

9月24日(土) 9:00~10:00

25. 卒前卒後教育2



座長：阿志賀 大和（国際医療福祉大学成田保健医療学部言語聴覚学科）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O25-1	しょうだ ゆみこ 正田 由美子	公立松任石川中央病院	看護師・保健師	コロナ禍前後の食事援助技術研修の比較検証
O25-2	かない えみ 金井 枝美	聖テレジア会聖ヨゼフ病院	言語聴覚士	医療・介護多職種に向けた嚥下訓練手技についてのアンケート調査結果報告第3報
O25-3	なかみぞ こずえ 中溝 こずえ	医療法人社団三医会鶴川記念病院	管理栄養士・栄養士	体験型食事介助の勉強会継続による意識変化の報告
O25-4	まつなが あきと 松永 哲人	済生会守山市民病院	看護師・保健師	看護師に対して多職種が講師となって行った摂食嚥下シリーズ研修の教育効果
O25-5	やまもと なおみ 山本 奈緒美	横浜市立脳卒中・神経脊椎センター	看護師・保健師	摂食嚥下障害にまつわる臨床倫理についての教育活動の報告
O25-6	こまき しょうたろう 小牧 祥太郎	鹿児島医療技術専門学校	言語聴覚士	嚥下リハビリテーション臨床現場を見据えた体系的な教育内容の立案への試み -PubMed 書誌データの解析より-

プログラム

9月24日(土) 10:10~11:10

26. 発達障害2



座長：落合 幸勝（東京都立北療育医療センター小児科）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O26-1	たかはし りょう 高橋 怜	社会福祉法人農協共済中伊豆リハビリテーションセンター	言語聴覚士	0°仰臥位が適正姿勢だった成人脳性麻痺の一例
O26-2	おのうえ ふみ 尾上 ふみ	獨協医科大学埼玉医療センター	言語聴覚士	発達の視点からアプローチをした頻回嘔吐を伴う経管依存症児の一例
O26-3	ひきもと なみ 久本 奈未	昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座口腔衛生学部門	歯科医師	乳歯未萌出のキアリ奇形児における咀嚼支援の試み
O26-4	さかい まゆ 酒井 真悠	日本大学歯学部摂食機能療法学講座	歯科医師	原因不明の発達障害により発達期に咀嚼を獲得できず、成人期で咀嚼を獲得した一例(第2報)
O26-5	てらやま みちこ 寺山 美智子	障害者支援施設けやきの村	管理栄養士・栄養士	障害者支援施設での経口維持の取り組みについて
O26-6	わたなべ まさひろ 渡邊 賢礼	昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座口腔衛生学部門	歯科医師	適切な時期に離乳食の摂取開始ができなかったため長期支援を要したダウン症候群の一例

一般演題 口演発表 9月24日(土) 第7会場

9月24日(土) 13:50~14:50

27. 基礎研究3



座長：中尾 真理 (東北大学大学院医工学研究科リハビリテーション医工学分野)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O27-1	すずき りょうか 鈴木 凌郁	国際医療福祉大学成田病院 リハビリテーション技術 部	言語聴覚士	唾液の送り込み方法が若年健常者の反復唾液 嚥下回数に及ぼす影響
O27-2	おちあい ゆうと 落合 勇人	新潟大学大学院医歯学総合 研究科摂食嚥下リハビリ テーション学分野	言語聴覚士	唾液分泌低下がパンの咀嚼嚥下動態に与える 影響
O27-3	ながさわ ゆうき 長澤 祐季	東京医科歯科大学摂食嚥下 リハビリテーション学分野	歯科医師	とろみ調整食品の摂取が消化管に及ぼす影響 -ラットを用いた基礎的検討-
O27-4	うちだ ありとし 内田 有俊	東京医科歯科大学大学院医 歯学総合研究科摂食嚥下 リハビリテーション学分野	歯科医師	社会的孤立モデル動物の活動性、筋量変化に 影響する要因の検討
O27-5	いとう なおき 伊藤 直樹	札幌歯科医師会口腔医療セ ンター	歯科医師	ヒト摂食嚥下器官のかたちの意味するところ ~ヒトと食虫類の比較解剖に基づく一考察~
O27-6	とみた たかし 富田 隆	帝京平成大学薬学部	大学・専門 学校等教員	服薬補助食品としての「カスピ海ヨーグルト」 の有用性検証

9月24日(土) 15:00~15:50

28. 栄養(症例)



座長：園井 みか (ノートルダム清心女子大学人間生活学部食品栄養学科)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O28-1	よしざわ あきら 吉澤 彰	東京医科歯科大学大学院医 歯学総合研究科老化制御学 講座摂食嚥下リハビリテ ーション学分野	歯科医師	とろみづけした難消化デキストリン配合炭酸 水が嚥下障害患者の脂質異常症軽快に寄与し た1例
O28-2	なかお さちえ 中尾 幸恵	朝日大学歯学部摂食嚥下 リハビリテーション学分野	歯科医師	口腔がん術後にBCAA付加による栄養補助 を行い栄養状態および口腔機能の改善を認め た1例
O28-3	たごころ みみえ 田所 史江	名古屋記念病院臨床栄養科	管理栄養士 ・栄養士	「ひきこもり」によりサルコペニア、摂食嚥 下障害が生じた患者への取り組みの一症例
O28-4	こうとう みさき 後藤 美紗紀	国立長寿医療研究センター	管理栄養士 ・栄養士	血糖管理を必要とした重度嚥下障害症例の在 宅療養に向けた栄養指導
O28-5	やまぎし よしふみ 山岸 義簡	特定医療法人社団研精会稲 城台病院	管理栄養士 ・栄養士	前医で11kgの体重減少を来して転院してき た嚥下障害の一例

一般演題 口演発表 9月24日(土) 第7会場

9月24日(土) 16:10~17:10

29. 精神心理的疾患



座長：新井 香奈子（滋賀県立大学看護学部）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O29-1	なかじょう ふみよ 中城 文代	公益社団法人福岡医療団千鳥橋病院	看護師・保健師	絶食管理患者のせん妄リスクと要因を考える
O29-2	じった ゆり 新田 友梨	社会医療法人財団石心会川崎幸病院	看護師・保健師	薬剤調整により直接訓練が可能となったレビー小体型認知症の一例
O29-3	はやし こうた 林 皓太	昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座口腔機能リハビリテーション医学部門	歯科医師	遅発性ジスキネジアによる嚥下障害患者に対し、訓練が奏功した症例
O29-4	おがわ けい 小川 けい	平成病院	言語聴覚士	嚥下困難が主訴の精神疾患者に個別性を重視したりハビリが経口摂取再獲得につながった一例
O29-5	たかはし みさと 高橋 美里	奈良西部病院リハビリテーション科	言語聴覚士	短期間の介入で捕食動作の改善を認めたアルツハイマー型認知症の一症例
O29-6	こばやし なみこ 小林 奈美子	福井大学医学部附属病院リハビリテーション部	言語聴覚士	自殺企図による喉頭外傷で嚥下障害を呈した1例

一般演題 口演発表 9月24日(土) 第8会場

9月24日(土) 9:00~9:50

30. 発達障害3



座長：野本 たかと（日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O30-1	うおた ちさと 魚田 知里	大阪大学歯学部附属病院	歯科医師	重症心身障害児者の日常の嚥下頻度が嚥下関連筋量に与える影響
O30-2	うつみ あけみ 内海 明美	昭和大学歯学部スペシャル ニーズ口腔医学講座口腔衛生学部門	歯科医師	特別支援学校の給食における初期食および胃瘻注入用ペースト食に関する検討
O30-3	しちり ともこ 七里 朋子	東京大学医学部附属病院リ ハビリテーション部	言語聴覚士	当院入院中の哺乳・嚥下障害児に対する嚥下リハビリテーション介入の状況調査
O30-4	あべ きみこ 阿部 仁子	日本大学歯学部摂食機能療 法学講座	歯科医師	当院に紹介される口腔機能発達不全症患者についての検討
O30-5	ささき ちあき 佐々木 千晶	社会福祉法人枚方療育園枚 方総合発達医療センターリ ハビリテーション科	言語聴覚士	喉頭気管分離術後の経口摂取に向けた訓練の検討

9月24日(土) 10:10~11:10

31. 高齢者



座長：本村 美和（茨城県立医療大学保健医療学部看護学科）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O31-1	しらはせ もとみち 白波瀬 元道	医療法人社団永生会法人本 部リハビリ統括管理部	言語聴覚士	医療療養病床の摂食嚥下リハビリテーション体制が入院患者の摂食嚥下機能の経過に与える影響
O31-2	なつみ なおこ 辰巳 奈緒子	医療法人社団愛康会小松ソ フィア病院	看護師・保健師	肺炎・禁食患者に対する院内の取り組み —フローチャートを作成・導入して—
O31-3	くろこうち せいじ 黒河内 誠司	訪問看護ステーション Style ハピタルハウス Style	看護師・保健師	施設入居者における摂食嚥下機能と食形態の マッチング
O31-4	あづま まさき 我妻 将喜	高根病院摂食嚥下センター	医師	ケアミックス病院における摂食嚥下センター の役割
O31-5	やまもと てつ 山本 徹	医療法人社団永生会在宅総 合ケアセンター	言語聴覚士	多機関多職種が関わる訪問型短期集中予防 サービスにおける共通概念の醸成
O31-6	まなべ ゆうた 真鍋 祐汰	社会福祉法人さわらび会特 別養護老人ホーム山河	理学療法士	要介護高齢者の基本的動作能力と嚥下機能の 関連について

一般演題 口演発表 9月24日(土) 第8会場

9月24日(土) 11:20~12:20

32. 地域(地域リハ・在宅)ご当地の取組



座長：竹市 美加 (訪問看護ステーションたべる)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O32-1	ひるむた まこと 蛭牟田 誠	朝日大学歯学部摂食嚥下リハ ハビリテーション学分野	言語聴覚士	当県飲食店における嚥下食の開発
O32-2	かない えみ 金井 枝美	聖テレジア会聖ヨゼフ病院	言語聴覚士	横須賀三浦地区における市民公開講座ミニ講 話オンデマンド配信の試み
O32-3	たかだ こうへい 高田 耕平	はなすたべるくらす舎	言語聴覚士	皆が外食を楽しめる「おやわ食堂」の取り組 みについて
O32-4	なご あきこ 名古屋 亜貴子	介護老人保健施設ハートケ ア湘南・芦名	管理栄養士 ・栄養士	横須賀地区嚥下調整食分類早見集の多職種共 有に向けた取り組み
O32-5	ながお きょうじ 長尾 恭史	岡崎市民病院リハビリテー ション室	言語聴覚士	行政と連携をとり地域でオーラルフレイル予 防運動を導入した効果と課題
O32-6	きむ よんじょん 金 娟廷	韓国高齢親和食品研究所	大学・専門 学校等教員	急速に変化する韓国の高齢人口増加に伴う高 齢者の食事ケア及び食品市場の現況

プ
ロ
グ
ラ
ム

9月24日(土) 13:50~14:50

33. 治療(訓練) 3



座長：大熊 るり (調布東山病院リハビリテーション科)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O33-1	うえまつ ともゆき 上松 智幸	高知リハビリテーション学 院	言語聴覚士	高齢者における舌挙上運動での最大筋力発揮 に関する試み
O33-2	ないとう だいすけ 内藤 大佑	リハビリテーション天草病 院	作業療法士	チューイングガムを用いて舌圧に着目し嚥下機 能改善を目的とした訓練の検討
O33-3	くにえだ けんじろう 國枝 顕二郎	岐阜大学大学院医学系研究 科脳神経内科学分野	医師	バキューム嚥下の指導法—経鼻胃管とシリ ンジを用いた簡易な方法の検討 第1報
O33-4	ながぬま さとえ 長沼 里恵	浜松市リハビリテーション 病院リハビリテーション部	言語聴覚士	バキューム嚥下の指導法—経鼻胃管とシリ ンジを用いた簡易な方法の検討 第2報
O33-5	こやま きょうへい 小山 恭平	藤田医科大学大学院保健学 研究科	言語聴覚士	嚥下CTと舌圧センサによるK-methodの運 動的検討
O33-6	おだ うみ 小田 海	イムス横浜東戸塚総合リハ ビリテーション病院	言語聴覚士	当院における気管カニューレ症例への対応法 の工夫 ～カフ脱気訓練と気切孔閉鎖訓練の効果に関 する報告～

一般演題 口演発表 9月24日(土) 第8会場

9月24日(土) 15:00~15:50

34. 治療 外科的治療



座長：田山 二郎 (国立国際医療研究センター)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O34-1	岸 宗佑 きし そうすけ	イムス札幌消化器中央総合病院消化器内科 VAD センター	医師	嚥下に関わる筋群を障害させずに血管内留置デバイス処置を行う有用性について
O34-2	副島 駿太郎 そえじま しゅんたろう	長崎大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科	医師	早期下咽頭癌に対する内視鏡下経口手術後の嚥下障害症例の検討
O34-3	須田 悟史 すだ ごとし	佐野厚生総合病院耳鼻咽喉科	医師	深頸部膿瘍治療後嚥下障害に対して嚥下機能改善手術が奏功した一例
O34-4	徳島 大樹 とくしま ひろき	医療法人清水会京都リハビリテーション病院	言語聴覚士	嚥下機能改善術により直接嚥下訓練が可能となり QOL の向上が得られた一例
O34-5	小松 万純 こまつ ますみ	東京歯科大学オーラルメデシシ・病院歯科学講座	歯科医師	脳卒中を発症し緊急手術を受けた患者の摂食嚥下機能と口腔環境についての検討

一般演題 口演発表 9月24日(土) 第9会場

9月24日(土) 9:00~10:00

35. 感染症2



座長：前島 伸一郎（国立研究開発法人国立長寿医療研究センター）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O35-1	さいとう まゆ 齋藤 真由	地方独立行政法人東京都立 病院機構東京都立荏原病 院歯科口腔外科	歯科医師	新型コロナウイルス感染症における高流量鼻 カニューラ使用時の誤嚥リスクの検討～死亡例 解析～
O35-2	よついで やすひろ 四井 泰大	福岡大学病院	看護師・保健師	COVID-19 重症例に対し ECMO 導入となっ た患者に対する嚥下評価
O35-3	うしじま としゆき 牛島 敏之	国家公務員共済組合連合 会熊本中央病院リハビリ テーション科	言語聴覚士	超高齢 COVID-19 患者における摂食嚥下能力 低下の現状と言語聴覚士介入の課題
O35-4	みやじ ゆか 宮路 結香	公益財団法人東京都保健医 療公社豊島病院	言語聴覚士	Covid-19 を起因とする挿管後の嚥下障害 ～当院 33 例からの考察～
O35-5	おおむら かずや 大村 和也	国際医療福祉大学成田病 院麻酔・集中治療科	医師	重症 COVID-19 患者における抜管後の摂食嚥 下の現状：単施設後ろ向き研究
O35-6	やまののうち ようこ 山野内 陽子	(公財)東京都保健医療公 社豊島病院	言語聴覚士	COVID-19 入院患者における摂食嚥下機能の 低下と関連要因の検討

プ
ロ
グ
ラ
ム

9月24日(土) 10:10~11:10

36. 脳卒中2



座長：北條 京子（浜松市リハビリテーション病院リハビリテーション部）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O36-1	ほし たつや 星 達也	医療法人社団苑田会竹の塚 脳神経リハビリテーション 病院リハビリテーション部	言語聴覚士	バルーン拡張法の継続治療によりバキューム 嚥下様の嚥下様式を認め改善した Wallenberg 症候群の長期追跡症例
O36-2	はしもと かおり 橋本 香緒里	兵庫県立リハビリテーショ ン中央病院リハビリ療法 部言語聴覚療法科	言語聴覚士	誤嚥防止術の適応に苦慮しながらも、長期的 なりハビリテーションで経口摂取に至った Wallenberg 症候群の 1 例
O36-3	かたやま よしえ 片山 芳恵	医療法人財団健真会総合東 京病院	言語聴覚士	発症 3 か月半経過後から嚥下訓練を開始した ワレンベルグ症候群の 1 例
O36-4	いしかわ まり 石川 真理	浜松市リハビリテーション 病院リハビリテーション部	作業療法士	右片麻痺合併の球麻痺嚥下障害に対して、自 助具を作成し片手でのバルーン訓練が自立し た 1 症例
O36-5	たいなか みさき 田井中 美咲	竹の塚脳神経リハビリテー ション病院	言語聴覚士	意欲的かつ継続的なバルーン拡張法により 3 食経口摂取が可能となった Wallenberg 症候 群の 1 例
O36-6	まるい みな 丸井 美奈	浜松市リハビリテーション 病院リハビリテーション部	言語聴覚士	舌接触補助床を用いた重度嚥下障害の 1 例と 当院における作製について

一般演題 口演発表 9月24日(土) 第9会場

9月24日(土) 11:20~12:20

37. 回復期1

座長：椎名 英貴 (森之宮病院リハビリテーション部)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O37-1	てらい あつし 寺井 淳	社会医療法人大道会森之宮病院リハビリテーション部 言語療法科	言語聴覚士	とろみ付き水飲みテストを用いた脳卒中嚥下障害患者の経口摂取再開要因の検討
O37-2	あらどの きよみ 荒殿 清美	熊本託麻台リハビリテーション病院	言語聴覚士	高次脳機能障害による先行期障害のため胃瘻造設を必要とした症例
O37-3	よしずみ まり 吉住 茉莉	武蔵村山病院リハビリテーションセンター	言語聴覚士	回復期病棟入院患者における舌圧の食形態選択への影響の検討
O37-4	きたはら たかまさ 北原 崇真	国際医療福祉大学市川病院	言語聴覚士	回復期リハ病棟における摂食嚥下障害患者の喉頭機能と嚥下機能との関連性
O37-5	やつだ なみき 谷田 奈美木	医療法人社団苑田会竹の塚脳神経リハビリテーション病院リハビリテーション部	言語聴覚士	後頭骨頸椎後方固定術後に嚥下障害を呈した患者が3食経口摂取可能となった1例
O37-6	きのした くみ 木下 供美	社会医療法人若弘会わかき竜間リハビリテーション病院	言語聴覚士	失行症状に対するアプローチを中心に嚥下訓練を行った一症例

9月24日(土) 13:50~14:40

38. 口腔・頭頸部疾患2

座長：大前 由紀雄 (大生水野クリニック)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O38-1	はなおか ひかる 花岡 輝	国際医療福祉大学三田病院リハビリテーション室	言語聴覚士	片側の舌骨上筋群を切除した舌亜全摘患者に対し舌骨可動域拡大訓練を施行し、梨状窩残留の減少を認めた一例
O38-2	かとう ひろたか 加藤 宏隆	昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座口腔機能リハビリテーション医学部門	歯科医師	舌癌術後患者において短期の入院下嚥下訓練により経鼻胃管から完全経口摂取となった1例
O38-3	のざわ こうた 野沢 宏太	医療法人清真会丹野病院	言語聴覚士	左舌癌亜全摘出術後の患者に対するVF検査と摂食嚥下リハビリテーション
O38-4	はら みほ 原 未帆	社会医療法人社団十全会心臓病センター橿原病院	言語聴覚士	上顎歯肉癌術後に重度咽頭期障害を呈した1症例
O38-5	ながさわ けいこ 長澤 圭子	大阪大学歯学部附属病院顎口腔機能治療部	歯科医師	嚥下障害の原因の見直しが正確な診断へとつながった口腔がん術後の症例

一般演題 口演発表 9月24日(土) 第9会場

9月24日(土) 15:00~16:00

39. 連携・チームアプローチ4



座長：飯田 良平 (ヒューマンデンタルクリニック)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O39-1	はまだ ちえみ 濱田 智恵美	国家公務員共済組合連合会 新別府病院	看護師・保健師	脳血管疾患患者へ離床による経口摂取・誤嚥性肺炎予防への効果
O39-2	さかた とくいち 坂田 徳一	社会医療法人財団新和会 八千代病院	看護師・保健師	摂食嚥下障害認定看護師も交えた 嚥下ラウンドの現状と課題
O39-3	たかはし ひとみ 高橋 ひとみ	白山石川医療企業団公立松任 石川中央病院	その他	嚥下機能が低下した患者の心理的苦痛とチーム支援の実際
O39-4	おかだ みき 岡田 美紀	東京大学医学部附属病院看護部	看護師・保健師	大学病院における摂食機能療法に関する活動の動向と課題
O39-5	あかはね ゆきこ 赤羽 由紀子	諏訪赤十字病院特殊歯科・ 口腔外科	歯科医師	医科歯科連携による摂食嚥下外来診療の有用性
O39-6	これもと なおき 是本 直樹	香川県立丸亀病院	看護師・保健師	A 病院における誤嚥インシデントレポートの分析

一般演題 口演発表 9月24日(土) 第10会場

9月24日(土) 9:00~10:00

40. 栄養(嚥下調整食) 2



座長：葩島 桂子 (浜松医療センター)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O40-1	こうやま 神山 かおる	農研機構食品研	その他	モデル舌を用いた市販介護食品のテクスチャー評価
O40-2	いずも ともや 出雲 友也	岩手大学理工学部	学生・大学院生	食事摂取量の自動計測システムの開発
O40-3	きむら まみこ 木村 麻美子	衣笠病院	管理栄養士・栄養士	衣笠病院における「とろみ自動調理サーバー」の運用について
O40-4	こうもと じゅんぺい 高本 純平	藤田医科大学病院食養部	管理栄養士・栄養士	2.5kcal/mlの栄養剤を活用したペースト食の栄養価改善効果
O40-5	くぼしま のぶお 久保島 伸雄	中野区かみさぎ特別養護老人ホーム	管理栄養士・栄養士	加水代わりにお粥ゼリーを用いたペースト食「加水ゼロ式調理法」の代替可能性の検証
O40-6	はら じゅんいち 原 純一	きらり健康生協上松川診療所 歯科口腔外科	歯科医師	VEによる嚥下治療と施設管理栄養士による栄養管理で施設食品ロス半減というSDGsを実施している取り組み事例

9月24日(土) 10:10~11:00

41. 臨床研究3



座長：苅安 誠 (ヒト・コミュニケーション科学ラボ、潤和リハビリテーション診療研究所)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O41-1	みやもと たくみ 宮本 卓海	熊本大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科	言語聴覚士	管腔内インピーダンス測定を用いた食塊通過速度の評価に関する予備的検討
O41-2	おおたけ あやか 大竹 綾香	医療法人豊田会刈谷豊田総合病院リハビリテーション科	言語聴覚士	摂食嚥下機能評価としてのスプーン嚥下誘発テストの検討① ~急性期病院での試行~
O41-3	ほた ざちよ 保田 祥代	医療法人豊田会刈谷豊田総合病院リハビリテーション科	言語聴覚士	摂食嚥下機能評価としてのスプーン誘発嚥下テストの検討② ~介護老人保健施設での試行~
O41-4	いなもと ようこ 稲本 陽子	藤田医科大学保健衛生学部リハビリテーション学科	言語聴覚士	PILL-5日本語版アセスメントツールを用いた服薬補助ゼリーの有効性の検討
O41-5				演題取り下げ

一般演題 口演発表 9月24日(土) 第10会場

9月24日(土) 11:20~12:00

42. 評価3



座長：田口 充 (医療生活協同組合やまがた鶴岡協立リハビリテーション病院)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O42-1	すぎした しゅうへい 杉下 周平	高砂市民病院リハビリテーション科	言語聴覚士	嚥下運動解析における経時的動作の定量評価の有用性について
O42-2	こやま ゆうじ 小山 祐司	東海大学医学部専門診療学系リハビリテーション科学	医師	嚥下造影の撮影フレームレート低下が penetration and aspiration scale (PAS) の判定に及ぼす影響
O42-3	かんざき のりお 神崎 憲雄	公益財団法人ときわ会常磐病院外科	医師	固形物の食事提供の可否判断を目的とした、嚥下造影検査におけるスコア評価基準の考案と妥当性の検証
O42-4	はやかわ なお 早川 奈緒	医療法人清真会丹野病院	言語聴覚士	臨床的評価(VF検査)で当院オリジナル分類法を用いたリハビリテーションの実践

9月24日(土) 13:50~14:50

43. 臨床研究4



座長：井口 はるひ (東京大学医学部附属病院リハビリテーション科)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O43-1	なかむら ともゆき 中村 智之	獨協医科大学リハビリテーション科学講座	医師	口腔咽喉頭疾患や神経筋疾患、重症疾患、肺炎なしに起こる摂食嚥下障害の機能予後に関連する因子の検討
O43-2	とだ ふみ 戸田 美美	藤田医科大学医学部リハビリテーション医学I講座	医師	大腿骨近位部骨折における摂食嚥下障害患者の特徴
O43-3	しげもと しんべい 重本 心平	会津中央病院歯科口腔外科	歯科医師	大腿骨骨折術後高齢者における口腔機能と栄養状態との関連
O43-4	なかお ゆうた 中尾 雄太	公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院リハビリテーション部	言語聴覚士	高齢入院患者における経口摂取開始に関連する因子の検討
O43-5	かわせ ふみや 川瀬 文哉	JA 愛知厚生連足助病院栄養管理室	管理栄養士・栄養士	内科高齢入院患者における口唇閉鎖力と摂食嚥下機能の関連
O43-6	なかやま えんり 中山 潤利	日本大学歯学部摂食機能療法学講座	歯科医師	要介護高齢者の咀嚼運動と食事形態との関係性

一般演題 口演発表 9月24日(土) 第10会場

9月24日(土) 15:00~15:50

44. 評価 4



座長：中山 剛志 (大久野病院リハビリテーション部言語聴覚療法科)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O44-1	おおつか かよこ 大塚 佳代子	社会医療法人若弘会わかくさ 竜間リハビリテーション病院	言語聴覚士	脳血管疾患嚥下障害症例における咀嚼訓練後の下顎活動量について
O44-2	あいばら けいこ 栗飯原 けい子	藤田医科大学保健衛生学部 リハビリテーション学科	言語聴覚士	延髄外側梗塞による摂食嚥下障害患者における食道入口部弛緩時圧の特徴 高解像度マノメトリーによる検討
O44-3	もりした たつや 森下 辰也	保善会田上病院	理学療法士	虚弱高齢者における舌圧とその関連要因
O44-4	しおや えいすけ 澁谷 英介	渋谷歯科医院	歯科医師	ミールラウンド時の嚥下評価をケアに活用するための取り組み
O44-5	しまぎき あすか 島崎 明日香	調布東山病院リハビリテーション科	言語聴覚士	入院時摂食嚥下スクリーニングの結果と食形態の変更について

9月24日(土) 16:10~17:00

45. 治療(訓練) 4



座長：柴田 斉子 (藤田医科大学医学部リハビリテーション医学I講座)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O45-1	おがわ まお 小川 真央	藤田医科大学医学部リハビリテーション医学I講座	医師	健常者に対する干渉波電気刺激の効果の検討
O45-2	もりた ひろこ 森田 裕子	尾西記念病院リハビリテーション部	言語聴覚士	当院における干渉電流型低周波治療器の使用報告
O45-3	さくらい たいき 櫻井 大暉	ルネサンス元氣ジム	理学療法士	嚥下機能の改善を目的とした舌骨上筋群への筋電気刺激の効果検証
O45-4	かいとう けんた 海東 健太	順天堂大学医学部附属静岡病院リハビリテーション科	言語聴覚士	肺がん術後の脳梗塞にて重度嚥下障害を呈した1例-NMESから得られた可能性とリハビリテーション-
O45-5	よしだ かずのり 吉田 数典	産業医科大学病院リハビリテーション部	言語聴覚士	不顕性誤嚥を繰り返す肺がん患者に頸部干渉波電気刺激治療を併用したが経口摂取再開に至らなかった一例

一般演題 ポスター発表

1. 研究（基礎研究）



演題番号	演者	所属	職種	演題
P1-1	いいた まさと 飯田 理人	日本大学大学院歯学研究科	歯科医師	Linalool 香気によるラット口内炎疼痛に対する鎮痛効果の評価
P1-2	せい ひろふみ 勢井 洋史	愛媛県立中央病院耳鼻咽喉科 頭頸部外科	医師	3D フードプリンターを用いた嚥下食造形に関する研究
P1-3	ふきの けいこ 吹野 恵子	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科咬合機能矯正学分野	歯科医師	喉頭の挙上を口蓋咽頭筋の甲状軟骨への付着の形態学的解析から考える
P1-4	いた れいこ 板 離子	新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野	学生・大学院生	種々の嚥下調整食品が嚥下動態に与える影響 - 健常者での検証 -
P1-5	しもかき けんじ 下笠 賢二	筑波技術大学	大学・専門学校等教員	VF 用造影剤に増粘剤を加えた時の粘度予測
P1-6	しん さと子 秦 さと子	大分県立看護科学大学	看護師・保健師	ショウガ成分含有飴の嚥下反射惹起への影響
P1-7	おおもり ひろたか 大森 史隆	福岡歯科大学医歯学総合病院耳鼻咽喉科	言語聴覚士	摂取物と嚥下方法が喉頭挙上持続時間に及ぼす効果
P1-8	ささ あんな 笹 香奈	新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野	言語聴覚士	固形食品咀嚼時の食塊形成過程における舌骨上筋群の評価
P1-9	たにぐち ひろしげ 谷口 裕重	朝日大学歯学部摂食嚥下リハビリテーション学分野	歯科医師	カプサイシンが咀嚼嚥下機能に与える影響～高解像マノメトリーを用いた検証～

2. 研究（臨床研究）



演題番号	演者	所属	職種	演題
P2-1	しいの よしたか 椎野 良隆	竹田総合病院	作業療法士	AI による嚥下造影検査画像を用いた予後予測システム
P2-2	こばやし ゆうと 小林 悠人	沼田脳神経外科循環器科病院	言語聴覚士	急性期脳卒中患者における舌圧、MASA の臨床的意味のある最小重要差 (MCID) の検討
P2-3	まつぎ たくや 馬継 琢也	市立甲府病院	看護師・保健師	嚥下機能障害があり、2ヶ月間絶食となっていた A 氏への KTBC を用いた看護ケアの効果
P2-4	しまだ たかふみ 島田 崇史	岩手医科大学歯学部補綴・インプラント学講座摂食嚥下・口腔リハビリテーション学分野	歯科医師	嚥下機能スクリーニング検査における唾液中心細菌由来 DPP4 測定の有用性
P2-5	いまおか まさあき 今岡 正晃	大阪歯科大学高齢者歯科学講座	歯科医師	嚥下内視鏡と検査時の食事風景との同時録画システムの構築と多職種連携における有用性
P2-6	なみき ちづる 並木 千鶴	神奈川歯科大学全身管理医歯学講座障害者歯科学分野	歯科医師	嚥下造影検査による咀嚼動態評価と口腔機能および嚥下機能との関連性
P2-7	おの であら しょうへい 小野寺 彰平	岩手医科大学歯学部補綴・インプラント学講座	歯科医師	全部床義歯の装着が摂食嚥下時の喉頭運動に与える影響

一般演題 ポスター発表

演題番号	演者	所属	職種	演題
P2-8	こばやし ともし 小林 聡	医療法人社団尚仁会平島病院	言語聴覚士	当介護医療院における摂食状況に関連する因子の検討
P2-9	つばかわ みさお 坪川 操	福井大学医学部附属病院リハビリテーション部	医師	高アミロース米で調理した米粉ゼリーの嚥下調整食としての可能性
P2-10	いいずみ よしき 飯泉 嘉基	昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座口腔機能リハビリテーション医学部門	学生・大学院生	健常成人における干渉波電気刺激下での咀嚼嚥下機能の変化
P2-11	やなぎだ りょうすけ 柳田 陵介	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野	歯科医師	嚥下障害患者における Tongue Right Positioner による舌圧の改善
P2-12	かわい ようすけ 河合 陽介	足利赤十字病院	歯科医師	嚥下造影を行った症例における口腔期、咽頭期障害の頻度
P2-13	ひの はるか 日野 遥香	新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野	歯科医師	種々の嚥下調整食品が嚥下動態に与える影響 - 臨床応用への可能性 -
P2-14	ふくむら ひろこ 福村 弘子	社会医療法人健和会健和会病院	看護師・保健師	栄養剤への増粘剤使用方法の検討
P2-15	ふくむら なおき 福村 直毅	社会医療法人健和会健和会病院	医師	声門下持続送気により生じた固化した分泌物に対する送気休止の効果
P2-16	こやま よしと 小山 吉人	信州大学医学部歯科口腔外科学教室	歯科医師	睡眠時の嚥下モニター装置の開発に関する研究～表面筋電図センサーの応用～追加研究～
P2-17	とだ かなこ 戸田 花奈子	埼玉県立大学健康開発学科口腔保健科学専攻	歯科衛生士	大学生を対象とした時間割引率と口腔保健との関連
P2-18	すぎうら たかのり 杉浦 貴則	牛久愛和総合病院歯科口腔外科	歯科医師	牛久愛和総合病院における食品による窒息症例の検討

3. 小児（療育・教育）



演題番号	演者	所属	職種	演題
P3-1	じぬし ともよ 地主 知世	日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座	歯科医師	食品の窒息による低酸素脳症児の摂食嚥下指導経験
P3-2	みながわ えつこ 皆川 悦子	北海道真駒内養護学校	言語聴覚士	北海道立特別支援学校教員への摂食に関する研修会について
P3-3	おのうえ ふみ 尾上 ふみ	獨協医科大学埼玉医療センターリハビリテーション科	言語聴覚士	干渉波電気刺激により哺乳障害が改善した乳児の一例
P3-4	かがわ まみ 香川 まみ	獨協医科大学埼玉医療センター	言語聴覚士	摂食場面に拒否が強かった経口摂取困難児に対する言語療法士の試み
P3-5	さくらい もとこ 櫻井 源子	株式会社 Nose つばめ療育館	言語聴覚士	児童発達支援事業所における母子への関わりとその効果：歌舞伎メーカーキャップ症候群の1例を通して
P3-6	はし しんお 林 佐智代	日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座	歯科医師	経口摂取が進まない Hirschsprung 病類縁疾患への摂食指導経験

一般演題 ポスター発表

演題番号	演者	所属	職種	演題
P3-7	なりた たえこ 成田 妙子	日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック	歯科衛生士	0歳から1歳半児の保護者における子どもの口腔機能発達に関する主観的評価
P3-8	まちだ れいこ 町田 麗子	日本歯科大学附属病院口腔リハビリテーション科	歯科医師	重度摂食嚥下障害を有する医療的ケア児への歯科訪問診療における摂食機能療法の課題
P3-9	こにし えみ 小西 恵巳	立命館大学大学院人間科学研究科	歯科医師	食えることが困難な在宅療養児のひと口を支える親の経験（中間報告）

4. 高齢者



演題番号	演者	所属	職種	演題
P4-1	さの あきひこ 佐野 明彦	さいたま口腔リハビリテーション歯科クリニック	歯科医師	急性硬膜下血腫患者で3食経口摂取に成功した一症例
P4-2	たかはし みどり 高橋 みどり	宝塚大学看護学部	看護師・保健師	車椅子高齢者の誤嚥防止を目指した看護師の食事ポジショニング知識と実践の調査
P4-3	よしの ひろみ 吉野 ひろみ	きらり健康生活協同組合上松川診療所歯科口腔外科	歯科衛生士	胃瘻造設3年後に経口摂取可能となるも後鼻漏の誤嚥から肺炎を繰り返したが経口摂取継続可能な一症例
P4-4	やまぐち みほ 山口 美帆	医療法人社団日心会総合病院一心病院	歯科衛生士	常食を摂取している臼歯部咬合支持を有さない入院患者の現状について
P4-5	やまぐち さとこ 山口 知子	昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座口腔衛生学部門	歯科医師	特別養護老人ホーム入所者における多剤服用と摂食嚥下障害との関連
P4-6	しまむら あや 島村 綾	東洋水産株式会社	企業関係者	介護食向け焼そばの物性と官能評価
P4-7	もりした もとよし 森下 元賀	吉備国際大学保健医療福祉学部理学療法学科	理学療法士	地域在住高齢者における炭酸飲料の摂取習慣と嚥下機能との関連
P4-8				演題取り下げ
P4-9	いとう たえこ 伊藤 太枝子	国際医療福祉大学成田病院	言語聴覚士	高齢入院患者の視力値と摂食嚥下機能との関連性について
P4-10	よしなか しん 吉中 晋	東京医科歯科大学医歯学総合分野摂食嚥下リハビリテーション学分野	歯科医師	要介護高齢者における摂食嚥下機能の日内変動に対する調査
P4-11	さいとう みほ 斉藤 美穂	医療法人社団幸隆会多摩丘陵病院	言語聴覚士	摂食に強い拒否のあった重度感覚性失語症患者が胃瘻から3食経口摂取に至った一例
P4-12	ながい とおる 永井 徹	新潟医療福祉大学健康栄養学科	管理栄養士・栄養士	前期高齢者と後期高齢者におけるサルコペニアリスクと口腔状態の検討
P4-13	きた なつひ 喜多 なつひ	富山医療生活協同組合富山協立病院	言語聴覚士	頸椎骨棘により嚥下障害を呈した一症例
P4-14	きむら まい 木村 舞	平川病院リハビリテーション科	理学療法士	電気けいれん療法と併行したリハビリテーションでサルコペニアの摂食嚥下障害が改善した老人性うつ病の一例
P4-15	よしずみ ゆう 吉住 結	さいたま赤十字病院口腔外科	歯科医師	鎮痛剤内服が困難なことが術後に判明した後期高齢舌癌患者の一例

一般演題 ポスター発表

演題番号	演者	所属	職種	演題
P4-16	むらなか きみ 村中 輝弥	医療法人永仁会永仁会病院	言語聴覚士	棒付き飴を使用した評価・訓練が経口摂取開始の契機となった1例
P4-17	すずき ふみひこ 鈴木 史彦	奥羽大学歯学部附属病院地域医療支援歯科	歯科医師	特別養護老人ホーム入所者の食事形態と日常生活および食事自立度との関係
P4-18	せき はつほ 関 初穂	北里研究所病院	言語聴覚士	介入時に経口摂取困難であったが、直接嚥下訓練を継続して経口摂取にて退院可能となった超高齢者の一例
P4-19	はら こうじ 原 豪志	神奈川歯科大学障害者歯科学分野	歯科医師	健常高齢者における安静時咽頭腔面積に関連する因子の検討

5. ステージ（急性期）



演題番号	演者	所属	職種	演題
P5-1	さいとう たいき 齋藤 太伊輝	日本大学歯学部摂食機能療法学講座	歯科医師	クモ膜下出血患者に対してアイスマッサージと味覚刺激を併用することで嚥下機能の回復に有効であった一例
P5-2	ほりこし えつよ 堀越 悦代	足利赤十字病院	歯科衛生士	急性期脳卒中患者に対して摂食機能療法を実施した患者の残存歯数と転帰について～予備的調査～
P5-3	あおき ひろなり 青木 寛成	北原国際病院	言語聴覚士	脳卒中急性期病棟スタッフを対象とした食事介助知識に関する調査報告
P5-4	さかぐち くみこ 坂口 紅美子	日本医科大学付属病院リハビリテーション科	言語聴覚士	嚥下スクリーニングを通過後に、病巣拡大により不顕性誤嚥を呈した脳卒中2症例
P5-5	こまき ゆき 小牧 侑紀	藤田医科大学病院歯科・口腔外科	歯科衛生士	舌・口腔底癌術後患者の経口摂取開始時期の遅延と嚥下障害の残存に及ぼす因子の後方視的探索
P5-6	くまもと まさし 隈元 将志	医療法人青仁会池田病院	言語聴覚士	入院後、重複する要因により重度嚥下障害が顕在化した一例
P5-7	まつもと しゅうじ 松元 秀次	筑波大学附属病院水戸医療センター・茨城県厚生連総合病院水戸協同病院リハビリテーション科	医師	急性期病棟入院患者に対するパルス式超音波歯ブラシの効果：ランダム化比較試験
P5-8	あべ はるか 阿部 晴香	日本大学歯学部摂食機能療法学講座	歯科医師	COVID-19の重症化により、摂食嚥下機能の回復に時間を要した1例
P5-9	のさか めい 野阪 芽生	公益財団法人操風会岡山旭東病院	言語聴覚士	大腿骨転子部骨折後に重度嚥下障害を呈して訓練に難渋した一症例

6. ステージ（回復期）



演題番号	演者	所属	職種	演題
P6-1	とうのう よしひろ 東納 嘉寛	社会医療法人喜悦会那珂川病院	言語聴覚士	Foix-Chavany-Marie 症候群による嚥下障害に対するアプローチ

一般演題 ポスター発表

演題番号	演者	所属	職種	演題
P6-2	谷村 絵美 <small>たにむら えみ</small>	福岡リハビリテーション病院	言語聴覚士	回復期脳卒中患者における退院時 MASA を用いたカットオフ値の検討
P6-3	鬼頭 百合香 <small>きとう ゆりか</small>	藤田医科大学七栗記念病院リハビリテーション部	言語聴覚士	入院時経管栄養患者における経口摂取獲得に影響する要因の検討
P6-4	中西 雅美 <small>なかにし まさみ</small>	公益社団法人群馬県医師会群馬リハビリテーション病院	看護師・保健師	50歳前後の脳卒中患者に対する歯科治療の有効性～咬合欠損に対し義歯補綴を試みたケース～
P6-5	佐藤 百華 <small>さとう ももか</small>	鶴岡協立リハビリテーション病院	言語聴覚士	誤嚥性肺炎の繰り返しにより絶食した嚥下障害のある高齢患者の経口摂取再獲得
P6-6	大村 真也 <small>おおむら しんや</small>	東京品川病院リハビリテーション科	言語聴覚士	多職種連携により3食経口摂取に繋がった延髄梗塞症候群の1例
P6-7	湯川 弘之 <small>ゆかわ ひろゆき</small>	社会医療法人愛仁会愛仁会リハビリテーション病院	医師	歯科介入を含めたりハビリテーションが奏功した舌癌治療後晩期の脳梗塞による嚥下障害の一例

7. ステージ（生活期・終末期）



演題番号	演者	所属	職種	演題
P7-1	佐野 明彦 <small>さの あきひこ</small>	さいたま口腔リハビリテーション歯科クリニック	歯科医師	誤嚥性肺炎患者での一部経口摂取で再発を予防した一症例
P7-2	小林 謙介 <small>こばやし けんすけ</small>	社会福祉法人さわらび会石神井台特別養護老人ホーム秋月	理学療法士	適切な食事摂取を促す機能的ポジショニングの効果
P7-3	原 美結 <small>はら みゆう</small>	相澤東病院	言語聴覚士	終末期の食支援を通して学んだこと
P7-4	吉川 峰加 <small>よしかわ みねか</small>	広島大学大学院医系科学研究科先端歯科補綴学	歯科医師	要介護高齢者におけるペコばんだを利用した舌抵抗訓練が口腔内環境へおよぼす変化
P7-5	杉山 恵子 <small>すぎヤマ けいこ</small>	久保木歯科医院	歯科衛生士	歯科衛生士は胃ろう患者の経口摂取支援に何ができるか？ 口腔ケア以外にできること
P7-6	松本 寛子 <small>まつもと ひろこ</small>	IMS グループ医療法人財団明理会西仙台病院	言語聴覚士	維持期における嚥下障害の予後予測 経管栄養離脱の可否に影響する因子の検討

8. 疾患



演題番号	演者	所属	職種	演題
P8-1	大津 浩輝 <small>おおつ ひろき</small>	国際医療福祉大学市川病院リハビリテーション室	言語聴覚士	重度嚥下障害により経口摂取再開に難渋したが、訓練経過の中で大幅な改善を認めたギランバレー症候群の一例
P8-2	川口 真紀子 <small>かわぐち まきこ</small>	国際医療福祉大学熱海病院リハビリテーション部	言語聴覚士	ギラン・バレー症候群によって嚥下障害を来した超高齢の一例に対する一考察
P8-3	村上 達郎 <small>むらかみ たつお</small>	吉備高原医療リハビリテーションセンター中央リハビリテーション部	言語聴覚士	当センターにおける頸髄損傷者の嚥下機能についての検討

一般演題 ポスター発表

演題番号	演者	所属	職種	演題
P8-4	やまぐち ななこ 山口 なな子	三九朗病院リハビリテーション部	言語聴覚士	頸髄損傷により嚥下障害を呈した Forestier 症候群の一例
P8-5	しばた あさこ 柴田 麻子	社会医療法人生長会府中病院	言語聴覚士	重度嚥下障害を呈したスティーヴンス・ジョンソン症候群の1症例
P8-6	さかい なおき 酒井 直樹	おかたに病院	理学療法士	非侵襲的陽圧換気療法の治療を有した慢性心不全増悪患者の摂食状況と移動能力の関係
P8-7	きのした たく 木下 拓	社会医療法人恵愛会大分中村病院	言語聴覚士	右片麻痺及び喉頭がん術後に中咽頭癌を合併し代償嚥下にて経口可能となった1症例
P8-8	やない たかのり 矢内 孝典	横浜新緑総合病院	理学療法士	長期入院する誤嚥性肺炎患者の特徴

9. 栄養（栄養・食事）



演題番号	演者	所属	職種	演題
P9-1	のだ まさこ 野田 雅子	福岡大学病院	管理栄養士・栄養士	パーキンソン病専門ホームに入居する患者の体重減少率
P9-2	にしだ のぞみ 西田 望	医療法人社団秀和会つがやす歯科医院	歯科衛生士	「歯科」と「栄養」の連携により胃瘻から全量の経口摂取が可能になった外傷性くも膜下出血後遺症の1例
P9-3	さが みつき 曾我 光希	医療法人社団秀和会つがやす歯科医院	管理栄養士・栄養士	歯科訪問診療で管理栄養士が介入し栄養管理を行った百寿者の1例
P9-4	たけやま ゆみ子 竹山 ゆみ子	宮崎大学医学部看護学科	看護師・保健師	女性高齢者の栄養状態と舌圧の関連
P9-5	やまうら あゆむ 山浦 歩	医療法人若葉会さいたま記念病院栄養科	管理栄養士・栄養士	テクスチュロメーターを用いた当院軟飯の物性計測
P9-6	いしだ みどり 石田 みどり	医療法人社団衿正会生駒病院	管理栄養士・栄養士	当院での栄養情報提供の取り組み～栄養管理連携パスから栄養情報提供書へ～
P9-7	さとう よしこ 佐藤 淑子	社会医療法人社団医善会介護老人保健施設いずみ	管理栄養士・栄養士	入所時食形態決定に口腔状態の把握と握手による握力把握を取り入れた取り組みについて
P9-8	ささ ともひこ 佐々 智彦	介護老人保健施設さかい幸朋苑	言語聴覚士	施設入居者の舌圧と握力、食形態の関連性
P9-9	ほんだ なお 本多 那央	医療法人社団秀和会つがやす歯科医院	歯科衛生士	救護施設入所者に対する当院の食支援について
P9-10	もろほし てつや 諸星 哲也	稲城台病院食支援センター	言語聴覚士	廃用・低栄養の嚥下障害患者に対し、当院の嚥下調整食が有効だった一例
P9-11	いづつ さあや 井筒 紗彩	医療法人社団秀和会つがやす歯科医院	管理栄養士・栄養士	歯科訪問診療に同行し管理栄養士が栄養指導を行った在宅療養者の概要
P9-12	かわしま なちこ 川島 七千子	埼玉医科大学病院栄養部	管理栄養士・栄養士	約3か月間脂質を含まない輸液管理で経過し摂食嚥下障害を発症した患者が経腸栄養開始後に改善した1症例
P9-13	いとう りえこ 伊藤 里衣子	医療法人社団まごころ四街道まごころクリニック	管理栄養士・栄養士	在宅療養者における MNA と食形態の関連性～“もぐまご”の活動報告より～

一般演題 ポスター発表

演題番号	演者	所属	職種	演題
P9-14	ふくもと きよし 福元 聡史	トヨタ記念病院栄養科	管理栄養士 ・栄養士	嚥下調整食学会分類の認知度に関する調査
P9-15	でわ のぞみ 出羽 希	新潟大学大学院医歯学総合 研究科摂食嚥下リハビリ テーション学分野	歯科医師	「食の支援ステーション」来訪者の介護食品 ニーズに関する調査
P9-16	つじ ゆうこ 辻 祐子	NTT 東日本関東病院	管理栄養士 ・栄養士	下咽頭癌術後の栄養サポート継続により職場 復帰と胃瘻除去が可能となった一症例
P9-17	きたばやし こう 北林 紘	新光会村上記念病院	管理栄養士 ・栄養士	慢性期病床患者における Functional Oral Intake Scale と生命予後との関連
P9-18	おおさわ ゆうや 大沢 優也	済生会横浜市東部病院栄養 部	管理栄養士 ・栄養士	るい瘦を伴う摂食嚥下障害に対して積極的な 栄養療法で経管栄養から経口摂取に移行した 一例
P9-19	さとう よしこ 佐藤 淑子	社会医療法人社団医善会介 護老人保健施設いずみ	管理栄養士 ・栄養士	当高齢者施設におけるお茶ゼリーの効果につ いて

10. 評価（評価・診断）



演題番号	演者	所属	職種	演題
P10-1	たまた やすし 玉田 泰嗣	長崎大学病院摂食嚥下リハ ビリテーションセンター	歯科医師	AI による sEMG を用いた嚥下イベントの検 出
P10-2	おきた ひろかず 沖田 浩一	金沢大学附属病院リハビリ テーション部	言語聴覚士	皮膚筋炎・多発性筋炎における嚥下障害の改 善期間に関する検討
P10-3	すずき えいじ 鈴木 英二	さいたま岩槻病院	医師	嚥下障害者摂食介助時の喉頭マイクの使用に よる摂食介助の理解改善 - アンケート調査の結果 -
P10-4	はせがわ ともや 長谷川 有哉	医療法人若葉会さいたま記 念病院リハビリテーション 科	言語聴覚士	嚥下障害者摂食介助時の喉頭マイクを使用し た誤嚥リスク評価
P10-5	たむら しゅんじ 田村 瞬至	松本歯科大学病院地域連携 歯科学講座	歯科医師	触診による高齢者の喉頭位の高さと嚥下機能 との関連性について
P10-6	かわむら さちえ 河村 幸恵	医療法人社団初仁会松田病 院リハビリテーション課	言語聴覚士	維持期 ST におけるスクリーニング検査につ いての一考察
P10-7	しのはら ちひろ 篠原 千尋	徳島文理大学保健福祉学 部口腔保健学科	歯科医師	要介護者版聖隷式嚥下質問紙 (Swallow10) の特別養護老人ホーム利用者への適用
P10-8	ながさわ けいこ 長澤 圭子	東京歯科大学口腔健康科学 講座摂食嚥下リハビリテー ション研究室	歯科医師	自己認識、対処能力を含めた新たな摂食嚥下 機能質問紙の開発 第3報クラスター分析に よる回答者の類型化
P10-9	すなはら かずお 砂原 一夫	神戸徳洲会病院リハビリ テーション科	言語聴覚士	姿勢変化による咀嚼力変化の検討
P10-10	かつまた えみ 勝又 恵美	ウィル訪問看護ステーショ ン江戸川	言語聴覚士	高齢者の 100ml 水飲みテストにおける嚥下機 能評価と身体・口腔機能との関係性
P10-11	おおくさ のりこ 大久佐 紀子	報徳会宇都宮病院検査課	検査技師	抗精神病薬内服患者における超音波を用いた 嚥下機能評価の検討

一般演題 ポスター発表

演題番号	演者	所属	職種	演題
P10-12	にしぎわ みつひろ 西澤 光弘	医療法人群栄会田中病院歯科	歯科医師	精神科病院における誤嚥・誤飲に関する要因の検討
P10-13	おがた ゆみこ 緒方 夕美子	平川病院リハビリテーション科	言語聴覚士	精神科病院における摂食嚥下障害患者の現状と予後についての検討
P10-14	なかなみ あき 中波 暁	市立砺波総合病院	医師	嚥下造影検査における舌骨運動解析時の距離補正方法の比較
P10-15	こいけ みらい 小池 みらい	社会医療法人健和会健和会病院	言語聴覚士	鼻咽腔閉鎖機能不全による上咽頭逆流の対策としてのヘッドアップ
P10-16	さくらば すぐる 櫻庭 優	黒石市国民健康保険黒石病院リハビリテーション科	言語聴覚士	嚥下困難で受診した食道カンジダ症の一例
P10-17	なかお まり 中尾 真理	東北大学大学院医工学研究科リハビリテーション医工学分野	医師	摂食嚥下障害者介護負担調査票 CARES 日本語版作成の試み・持続可能な介護を目指して
P10-18	なかじま ななか 中嶋 菜々華	JCHO 星ヶ丘医療センターリハビリテーション部	理学療法士	超音波検査における測定部位の違いによる摂食嚥下評価の信頼性の検討
P10-19	ひさなが まさし 久永 将史	嬉野医療センター耳鼻咽喉科	医師	当院における経鼻胃管の咽頭内交差の現状とその確認方法に関する検討
P10-20	あらい のぶき 新井 伸征	川崎医科大学附属病院	医師	自由度の高い3次元的嚥下機能評価法
P10-21	やまだ まなか 山田 愛可	独立行政法人国立病院機構刀根山医療センター	言語聴覚士	注意障害を呈する多系統萎縮症（MSA）に対する炭酸水を用いたVFの試み
P10-22	うえだ あきひと 上田 章人	医療法人藤仁会藤立病院	医師	服薬補助ゼリーを用いて服薬した際に、ゼリーと分離した薬剤が喉頭侵入を起こした1例
P10-23	おりはら えりこ 折原 枝里子	さいたま赤十字病院リハビリテーション科	言語聴覚士	向精神薬が嚥下機能に影響を及ぼした一例
P10-24	とめはた すみえ 留畑 寿美江	関東学院大学	看護師・保健師	嚥下障害を主訴としない耳鼻咽喉科外来患者の飲水時における頸部姿勢の検討
P10-25	おきた あつし 沖田 充司	岡山市立市民病院外科	医師	外科で取り組む摂食嚥下機能評価の試み

11. 治療（訓練）



演題番号	演者	所属	職種	演題
P11-1	えんどう まゆみ 遠藤 真弓	公立館林厚生病院リハビリテーション技術室	言語聴覚士	意欲をなくした重症脳幹出血の患者が他動的なアプローチにより経口摂取に至った1例
P11-2	しらいし はるよ 白石 春代	さいたま市立病院	看護師・保健師	嚥下反射惹起不全患者に対するとろみシャーベット摂食訓練における一考案
P11-3	おがさわら こうじ 小笠原 功二	社会福祉法人農協共済別府リハビリテーションセンター	言語聴覚士	高齢かつ多様な疾患に起因する摂食・嚥下障害を呈した一例－自力摂取に向けたアプローチ－
P11-4	さいとう ゆうと 齊藤 雄士	総合南東北病院	言語聴覚士	脳出血後遺症の患者に対して干渉波電気刺激が有効であった一症例

一般演題 ポスター発表

演題番号	演者	所属	職種	演題
P11-5	かのう さちこ 狩野 幸子	公益社団法人群馬県医師 会群馬リハビリテーション 病院	看護師・保健師	脳血管疾患患者への経口摂取に向けた摂食機能療法の効果 -摂食機能療法実施群と非実施群を比較して-
P11-6	こばやし ひろこ 小林 浩子	藤田医科大学病院リハビリ テーション部	言語聴覚士	食道入口部ダブルバルーン拡張術の継続により経口摂取自立した延髄外側梗塞による慢性期嚥下障害2例
P11-7	さかぐち かずま 坂口 和馬	済生会吉備病院	言語聴覚士	ワレンベルグ症候群を呈した5症例の経過
P11-8	まつうら ひろたか 松浦 広昂	藤田医科大学リハビリテー ション医学I講座	医師	嚥下・発声訓練, 抜管によって改善した喉頭浮腫の一例
P11-9	やまだ まこ 山田 真子	新潟大学大学院医歯学総合 研究科摂食嚥下リハビリ テーション学分野	歯科衛生士	聴覚障害患者にタブレット端末を使用して摂食嚥下リハビリテーションを実施した1例
P11-10	おおうち たけし 大内 健史	総合南東北病院	言語聴覚士	嚥下造影検査を実施し代償嚥下方法を獲得した副咽頭間隙腫瘍術後の1症例
P11-11	はせがわ しょうへい 長谷川 翔平	東京医科歯科大学大学院医 歯学総合研究科摂食嚥下リ ハビリテーション学分野	歯科医師	訓練時のとろみ濃度を漸減することで安全なストロー飲みを獲得できた舌癌術後の症例
P11-12	こうとう ゆうすけ 後藤 佑介	国立病院機構西新潟中央病 院リハビリテーション科	言語聴覚士	バルーン法が有効であった上食道括約筋の開大障害を呈した封入体筋炎の1例
P11-13	きしむら よしのり 岸村 佳典	社会医療法人生長会ベルビ アノ病院	言語聴覚士	COVID - 19 治療後のVF 検査にて頸椎椎体骨棘による嚥下障害を認めた一症例
P11-14	おおした めぐみ 大下 恵	岩手県立千厩病院	看護師・保健師	喉頭蓋の反転不全がある患者へのアプローチ
P11-15	もり ゆうたろう 森 裕太郎	日本大学歯学部付属歯科病 院摂食機能療法科	歯科医師	聴覚障害を有する口腔機能低下症患者への口腔機能訓練効果
P11-16	さいとう みずか 齋藤 瑞花	日本大学歯学部付属歯科病 院摂食機能療法学講座	歯科医師	意思疎通困難な認知症患者に対し訓練指導を視覚化することで訓練効果を認めた一例
P11-17	きりき あやき 桐木 文咲	医療法人豊田会刈谷豊田綜 合病院リハビリテーション 科	言語聴覚士	脳幹梗塞と頸髄損傷の合併により重度嚥下障害を呈した一症例～急性期から在宅までの関わりを通して～
P11-18	ほその たかや 細野 隆也	医療法人社団・社会福祉法 人健恒会	歯科医師	エチケットタブレットを使った簡単な舌挙上訓練
P11-19	なかむら ともやす 中村 智康	日本大学歯学部摂食機能療 法学講座	歯科医師	喉頭浮腫と急性喉頭蓋炎による嚥下障害患者に対して医科と連携し一側嚥下により改善した一症例
P11-20	えぐち あやか 江口 采花	日本大学松戸歯学部障害者 歯科学講座	歯科医師	感覚過敏により摂食拒否を示した de Lange 症候群に対するアプローチ
P11-21	つつい あかり 筒井 亜香里	新潟大学医歯学総合病院診 療支援部歯科衛生部門	歯科衛生士	Beckwith-Wiedemann 症候群における出生後の哺乳障害に対応した2症例
P11-22	おさな いなつみ 小山内 奈津美	津軽保健生活協同組合健生 病院	言語聴覚士	冷凍ゼリーによる摂食訓練の適応と有用性についての検討
P11-23	すがわら まきこ 菅原 真希子	さいたま赤十字病院リハビ リテーション科	言語聴覚士	Pooling の改善に頸部干渉波刺激 (IFC : Interferential Current) は有用か

一般演題 ポスター発表

演題番号	演者	所属	職種	演題
P11-24	いしやま ひさこ 石山 寿子	国際医療福祉大学成田保健 医療学部言語聴覚学科	言語聴覚士	遷延性意識障害患者に対する摂食嚥下リハビリテーションに関する介入分析
P11-25	かまた いくこ 鎌田 郁子	川崎市立川崎病院リハビリ テーション科	言語聴覚士	バルーン拡張法により短期間で経口摂取可能となった難治性皮膚筋炎の一例
P11-26	すずき まゆ 鈴木 真由	社会医療法人畿内会岡波綜 合病院	言語聴覚士	頸椎椎間板ヘルニア術後に摂食嚥下障害を呈した一例

12. 治療（外科的治療）



演題番号	演者	所属	職種	演題
P12-1	たかしま すみえ 高島 寿美恵	聖隷佐倉市民病院耳鼻咽喉 科	医師	甲状軟骨舌骨固定術後に舌骨の下垂と舌圧の低下を来した1例

13. 治療（補綴・装具・治療機器）



演題番号	演者	所属	職種	演題
P13-1	やなぎさわ ゆうき 柳澤 優希	医療法人社団藤聖会富山西 総合病院リハビリテーショ ン科	言語聴覚士	摂食訓練時に干渉電流型低周波刺激を併用し、座位での摂食が可能となった一例
P13-2	なかやま たけし 中山 剛志	医療法人財団利定会大久野 病院リハビリテーション部	言語聴覚士	舌接触補助床の装着により摂食嚥下能力に変化を認めた慢性硬膜下血腫の一例
P13-3	こじま かおり 小島 香	こじまデンタルクリニック	言語聴覚士	小児の摂食嚥下障害に対する干渉波刺激療法の検討
P13-4	おくぬし よしひこ 奥主 嘉彦	公益社団法人東京都町田市 歯科医師会	歯科医師	上下嚥下補助床の同時併用にて一定の摂食嚥下機能が保たれた症例
P13-5	なかた はるか 中田 悠	東京歯科大学短期大学	歯科衛生士	神経筋電気刺激訓練による咀嚼筋増強効果の検討
P13-6	はら こうじ 原 豪志	神奈川歯科大学障害者歯科 科学分野	歯科医師	唾液誤嚥を減少させる簡易な口腔内装置の開発
P13-7	やなぎさわ りょうた 柳沢 亮太	河津歯科医院	歯科技士	補綴装置の経年変化とトラブルへの対応

14. 地域（地域リハ・在宅）



演題番号	演者	所属	職種	演題
P14-1	さとう ひさかず 佐藤 央一	医療法人栄寿会天満病院	言語聴覚士	高齢舌がん患者への摂食嚥下リハビリテーション介入を行なった長期経過の一症例
P14-2	なかがわ けんた 中川 研人	御所西歯科中川クリニック	歯科医師	在宅において嚥下内視鏡検査で喉頭軟化症 (Floppy Epiglottitis) を認めた筋萎縮性側索硬化症 (ALS) の1例

一般演題 ポスター発表

演題番号	演者	所属	職種	演題
P14-3	おおしま じゅんこ 大嶋 淳子	千葉県立佐原病院訪問看護 ステーションさわら	看護師・保健師	ハイリスクアプローチによる訪問看護中の在宅療養患者誤嚥性肺炎の発症予防の取り組み
P14-4	くりさわ しょうへい 栗澤 祥平	健和会病院	言語聴覚士	当院回復期での入院治療と言語聴覚士による訪問支援により在宅でも完全側臥位での経口摂取が継続出来た症例
P14-5	とみた けんじ 富田 健嗣	一般社団法人愛知県歯科医師会	歯科医師	愛知歯科医療センター口腔機能検査事業の立案に向けた検討
P14-6	ねもと ゆか 根本 結佳	龍ヶ崎済生会病院医療技術 部栄養科	管理栄養士 ・栄養士	当院の栄養情報提供書の運用における現状と課題
P14-7	やんべ なおひと 山家 尚仁	奥羽大学歯学部附属病院地 域医療支援歯科	歯科医師	当科での訪問歯科診療における COVID-19 への対応
P14-8	あかお こうき 赤尾 光輝	大阪歯科大学高齢者歯科学 講座	歯科医師	兵庫丹波篠山地区での口から始めるフレイル予防の活動報告
P14-9	なかもと はるか 中本 晴香	富山医療生活協同組合富山 協立病院	言語聴覚士	限られた訪問リハビリの介入で家族指導が定着し、need に応えることができた人工呼吸器利用者の一例

15. 連携（チームアプローチ）



演題番号	演者	所属	職種	演題
P15-1	やまぎ たまへ 山崎 珠絵	春日部厚生病院	管理栄養士 ・栄養士	セラピストと取り組む摂食嚥下障害患者への退院支援
P15-2	こいけ なほ 小池 奈歩	五反田リハビリテーション 病院リハビリテーション科	言語聴覚士	リハビリテーション病院での摂食嚥下障害に対する活動報告 - 嚥下チームと言語聴覚士の視点から -
P15-3	なかい のりこ 中井 憲子	佐野厚生総合病院看護部	看護師・保健師	多職種が食事の姿勢調整の介入を行なったことによる効果について
P15-4	にしだ あきこ 西田 明子	五反田リハビリテーション 病院栄養科	管理栄養士 ・栄養士	急性硬膜下血腫術後、嚥下障害、低栄養を生じた患者への管理栄養士の関わり
P15-5	さくらば きょうこ 櫻庭 京子	獨協医科大学埼玉医療セン ター	言語聴覚士	誤嚥性肺炎は誰の責任？
P15-6	あらかわ みほ 荒川 実穂	安芸太田病院	看護師・保健師	大腿骨頸部骨折術後肺炎の発症に対する摂食嚥下チームの介入効果について
P15-7	おおつか あつこ 大塚 あつ子	朝日大学歯学部摂食嚥下リ ハビリテーション学分野	歯科医師	地域中核病院における摂食嚥下支援チーム (SST) 設立後の FOIS 変化
P15-8	さきむら かずひろ 笹村 和博	医療法人社団仁慈会介護老 人保健施設まおりハビリ テーション科	言語聴覚士	デイケアに求められること～経口摂取困難な利用者が経口摂取に至る連携の一例～
P15-9	たくま はるみ 詫間 晴美	神戸医療生活協同組合神戸 協同病院	管理栄養士 ・栄養士	経口摂取困難と評価されても他職種連携にて自力摂取にて退院できた事例
P15-10	ちよはら ともみ 千代原 智美	社会福祉法人奉優会特別養 護老人ホーム杏掛ホーム	管理栄養士 ・栄養士	介護老人福祉施設における歯科と干渉波電気刺激療法を併用した看取り期の経口維持の持続可能な取り組み

一般演題 ポスター発表

演題番号	演者	所属	職種	演題
P15-11	おかだ しょういち 岡田 彰一	医療法人岡谷会おかたに病院	言語聴覚士	当院での摂食嚥下委員会のチーム活動や取り組み報告
P15-12	くまくら 熊倉 ひとみ	信楽園病院	管理栄養士 ・栄養士	摂食嚥下サポートチームの取り組み～第2報
P15-13	かがや のぼる 加賀谷 昇	加賀谷歯科医院	歯科医師	在宅で介護サービス未使用であった摂食嚥下障害を含む盲目の患者との関わり
P15-14	まつなが あきと 松永 哲人	済生会守山市民病院看護部	看護師・保健師	当院における摂食機能療法実施患者の転帰と摂食嚥下支援加算対象者との比較
P15-15	あおしま ひさし 青島 久	青島歯科	歯科医師	歯科のない病院における連携歯科との合同口腔ケア回診による歯科治療ニーズの発掘
P15-16	おざき けんいちろう 尾崎 研一郎	足利赤十字病院リハビリテーション科	歯科医師	チーム医療実践リーダー育成研修におけるコーチングスキルアセスメントの結果報告
P15-17	うさき みやすこ 宇佐美 康子	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院患者支援センター地域包括ケア支援室	看護師・保健師	嚥下内視鏡による評価で重度の嚥下障害と判定された患者に対する摂食嚥下支援チームの介入
P15-18	おかやま かな 岡山 香那	医療法人社団喜峰会東海記念病院歯科	歯科医師	当院における摂食嚥下支援チームの活動報告
P15-19	まつだ きよ代 松田 妃代	医療法人のぞみ会新大阪病院	言語聴覚士	当院における摂食嚥下リハビリテーションの実績 ～嚥下造影検査件数と経口摂取再獲得患者数をもとに～
P15-20	さじ わかな 佐治 若奈	認定栄養ケア・ステーションごはんのおとも	管理栄養士 ・栄養士	歯科医院に併設された認定栄養ケア・ステーションでの活動の一例
P15-21	こばやし よしこ 小林 佳子	佐野厚生総合病院看護部	看護師・保健師	嚥下支援チームにおける各職種の役割について
P15-22	まつばら みわ 松原 美和	出雲市民病院リハビリテーション科	医師	看護師のNST活動への参加促進におけるコーチングの効果
P15-23	ますだ つばき 増田 翼	ウィル訪問看護ステーション江戸川	看護師・保健師	在宅相談支援チームにおける摂食嚥下障害認定看護師、認定言語聴覚士の役割
P15-24	おおむら やすまさ 大村 泰正	中東遠総合医療センター	看護師・保健師	A 病院における嚥下チーム設立と活動報告
P15-25	ねもと あいこ 根本 愛子	JR 札幌病院摂食嚥下障害対策チーム	看護師・保健師	当院における嚥下食決定における問題点についての検討
P15-26	いけだ しのぶ 池田 しのぶ	地方独立行政法人大阪市民病院機構大阪市立総合医療センター	看護師・保健師	摂食・嚥下障害看護認定看護師活動と成果～多職種連携とチームアプローチの効果～
P15-27	まつざわ ゆう 松澤 優	社会医療法人医仁会中村記念南病院	看護師・保健師	嚥下調整食の検査を多職種で継続的に行うことのメリット
P15-28	あさの あきこ 浅野 全子	袋井市立聖隷袋井市民病院リハビリテーション室	言語聴覚士	KT バランスチャートを用いた包括的支援の取り組み ～多職種支援により自宅退院が可能となった1例～

一般演題 ポスター発表

演題番号	演者	所属	職種	演題
P15-29	ながみね しょうた 長嶺 翔太	介護老人保健施設池田苑	言語聴覚士	老人保健施設での経鼻経管栄養離脱ケースの報告～ VE・VF などの他覚的な検査の行えない環境下での取り組み～
P15-30	いしだ ともこ 石田 智子	医仁会武田総合病院	看護師・保健師	SCU 看護師による摂食機能療法実施にむけた取り組み - KTBC [®] を取り入れたシステムの構築
P15-31	せい の ゆみこ 清野 由美子	新潟大学医学部保健学科	看護師・保健師	専門職不在の精神科病院における新たな摂食嚥下支援体制構築と介入の試み
P15-32	おぼら ひとし 小原 仁	国立病院機構仙台医療センター	管理栄養士・栄養士	当院における摂食嚥下支援チームの活動状況
P15-33	たなべ みよこ 田辺 美代子	武田総合病院看護部	看護師・保健師	心臓血管疾患術後に両側反回神経麻痺を生じた患者に対し、多職種で経口摂取移行と自宅退院できた一例
P15-34	にしほやし えいこ 西林 栄子	医療法人社団幸隆会多摩丘陵病院	看護師・保健師	地域密着型ケアミックス病院における摂食・嚥下支援チームの活動実態と課題
P15-35	ドゥレコズ きょうこ 恭子	くりさき歯科・こども歯科	言語聴覚士	地域の歯科医院での多面的な摂食・嚥下支援を目指して
P15-36	ながい ももな 永井 桃奈	社会医療法人仁寿会加藤病院	言語聴覚士	摂食嚥下機能向上支援チーム「スワローズ」の活動報告

16. 連携（医工産学連携）



演題番号	演者	所属	職種	演題
P16-1	つかだ たく 塚田 徹	竹田総合病院	作業療法士	AI による嚥下造影検査の誤嚥有無解析
P16-2	たまだ やすし 玉田 泰嗣	長崎大学病院摂食嚥下リハビリテーションセンター	歯科医師	AI による sEMG 信号を用いた舌骨位置の推定
P16-3	いづか まきと 飯塚 眞喜人	昭和大・医・生体調節機能	大学・専門学校等教員	嚥下時の喉頭の総移動距離を計測するためのピエゾセンサーシートの開発
P16-4	ふじたか ゆうた 藤高 祐太	株式会社メディカルサービス明和	理学療法士	自立支援と誤嚥予防のための POTT 用多機能車椅子用テーブルの開発
P16-5	おくむら たくま 奥村 拓真	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野	歯科医師	開口速度計の開発
P16-6	あらがね ひでき 荒金 英樹	愛生会山科病院	医師	医療と地域産業の融合の試みと課題 ～京介食推進協議会の活動～
P16-7	くろせ まさひこ 黒瀬 雅彦	大野浦病院	理学療法士	食べる喜びを伝える UI (ユー・アイ) クッションの開発

一般演題 ポスター発表

17. 経済・医療福祉制度



演題番号	演者	所属	職種	演題
P17-1	なかにし えり 中西 恵莉	杉村病院リハビリテーション部	言語聴覚士	脳血管造影検査後の残存した低浸透圧性非イオンヨード系造影剤を使用した嚥下造影検査

18. リスク管理



演題番号	演者	所属	職種	演題
P18-1	こしみず もとこ 古清水 元子	諏訪赤十字病院看護部	看護師・保健師	嚥下障害リスク早期発見を目指した取り組み～看護師に対する嚥下障害に関する意識調査～
P18-2	りた めぐみ 利田 恵	医療法人社団アルペン会アルペンリハビリテーション病院	看護師・保健師	運動器疾患患者における誤嚥性肺炎リスクがある症例の把握方法～大腿骨骨折患者について～

19. 教育（卒前卒後教育）



演題番号	演者	所属	職種	演題
P19-1	こやま たまみ 小山 珠美	NPO法人人口から食べる幸せを守る会	看護師・保健師	台湾におけるKTバランスチャート活用による包括的食支援の普及
P19-2	いしぐろ しんいち 石黒 慎一	JA 神奈川県厚生連伊勢原協同病院	看護師・保健師	食事介助技術についての意識調査
P19-3	のむら みな 野村 美奈	(公社) 茨城県歯科医師会口腔センター水戸	歯科衛生士	新型コロナウイルス感染症対策実施により開催した摂食嚥下研修会について
P19-4	とほら なかし 戸原 雄	日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック	歯科医師	With コロナ時代におけるVRを用いた新たな教育システムの構築の試み

20. 世界の動向



演題番号	演者	所属	職種	演題
P20-1	ちば ゆみ 千葉 由美	横浜市立大学大学院医学研究科看護学専攻	看護師・保健師	肺移植における誤嚥に関する文献検討
P20-2				演題取り下げ

21. 感染



演題番号	演者	所属	職種	演題
P21-1	さの たかまさ 佐野 剛雅	多摩北部医療センターリハビリテーション科	言語聴覚士	COVID-19 第6波において嚥下障害患者が増加した要因に関する検討

一般演題 ポスター発表

演題番号	演者	所属	職種	演題
P21-2	かわもと かつゆき 河本 勝之	淡海医療センター頭頸部甲 状腺外科センター・耳鼻咽 喉科	医師	Covid-19 感染後に生じた長期嚥下障害例—長期訪問リハ後、嚥下改善術施行し経口摂取を再獲得した例—

22. 看護



演題番号	演者	所属	職種	演題
P22-1	たなか わたる 田中 薫	神戸市立医療センター中央 市民病院	看護師・保健師	摂食嚥下障害のある脳卒中患者の食事介助における看護師の工夫とスキルについて
P22-2	あむら けんじ 粟村 健司	兵庫県立大学看護学部	看護師・保健師	嚥下障害を有する脳卒中患者の移行体験を支える看護方略の抽出：質的記述的研究
P22-3	おかど あいこ 尾門 愛子	地方独立行政法人広島市立 病院機構広島市立広島市民 病院	看護師・保健師	絞扼性イレウスを契機に摂食嚥下機能が低下した患者に対する経口摂取再開までの支援
P22-4	みつはし りきと 三橋 力輝斗	東海大学医学部付属病院看 護部	看護師・保健師	舌広範囲切除皮弁再建術患者における退院時代代替栄養の有無に関連する要因の調査
P22-5	こだま ちかこ 児玉 千佳子	たかだ脳神経外科・内科ク リニック	看護師・保健師	A 県摂食・嚥下障害看護認定看護師が行う気管カニューレ抜去に関する摂食嚥下リハビリテーションの現状
P22-6	はせがわ 長谷川 めぐみ	医療法人社団浅ノ川心臓血 管センター金沢循環器病院	看護師・保健師	当院での摂食嚥下回診の充実を目指して 摂食嚥下障害観察シートの作成・活用
P22-7	いのうえ えいこ 井上 映子	城西国際大学看護学部	大学・専門 学校等教員	高齢者における表情筋と嚥下機能の関連—朗読の効果検証—

23. 口腔ケア



演題番号	演者	所属	職種	演題
P23-1	さかい あゆ 坂井 鮎	藤田医科大学病院歯科・口 腔外科	歯科衛生士	脳卒中急性期から回復期にかけての身体活動性と口腔環境、摂食レベルとの関係
P23-2	ながしま あさみ 長嶋 麻美	寺本内科歯科クリニック	歯科医師	不顕性誤嚥に起因して繰り返される肺炎に対して嚥下評価と口腔ケアが奏功した一例
P23-3	おおい なお 大井 直	医療法人社団悠翔会悠翔会 在宅クリニック歯科診療部	歯科衛生士	訪問歯科衛生指導により口腔衛生状態と食事摂取状況が改善した一例
P23-4	ばんの ひろこ 番野 比呂子	特別養護老人ホーム梅光苑	歯科衛生士	当施設における口腔ケアの取り組み、誤嚥性肺炎の予防を目指して
P23-5	しらishi ゆうこ 白石 裕子	医療法人徳洲会宇治徳洲会 病院	看護師・保健師	内科急性期病棟での口腔ケアの定着を目指す取り組み
P23-6	いけはた りょうた 池端 良太	社会医療法人友愛会友愛医 療センター	看護師・保健師	Oral Health Assessment Tool を用いた口腔ケアの標準化に向けた取り組み
P23-7	たかざわ いつき 高澤 維月	東京医科歯科大学大学院医 歯学総合研究科口腔健康教 育学分野	歯科衛生士	新入職看護師における口腔ケア関連知識の理解度および口腔ケア研修の効果に関する調査

一般演題 ポスター発表

演題番号	演者	所属	職種	演題
P23-8	たけうち ゆき 竹内 由紀	川崎幸病院	看護師・保健師	当院の口腔機能管理への取り組みと今後の課題
P23-9	こりいけ すみこ 小利池 澄子	金沢医科大学病院	看護師・保健師	食べられる口を維持する為の口腔ケアの取り組み

24. その他



演題番号	演者	所属	職種	演題
P24-1	よしぎき れいこ 吉崎 怜子	東京医科歯科大学	歯科医師	在宅療養患者の嚥下機能と他者との交流や笑いの頻度の関係について
P24-2	いわぎき しずの 岩崎 静乃	特定医療法人研精会稲城台病院食支援センター	歯科衛生士	当院食支援センターの拒食認知症高齢者に対するアプローチ
P24-3	はぎわら だいすけ 萩原 大輔	千葉県歯科医師会	歯科医師	障害児者施設利用者における摂食嚥下の現状と医療機関受診に関する検討
P24-4	みくし しんや 三串 伸哉	森本歯科医院	歯科医師	長崎嚥下食デザートコンテスト
P24-5	うちだ ききよ 内田 祐代	独立行政法人市立大津市民病院看護局	看護師・保健師	摂食機能療法実施履歴確認ツール作成による算定率向上の取り組み
P24-6	にわ ひろし 丹羽 浩	愛知県歯科医師会	歯科医師	愛知県歯科医師会主催による喀痰吸引研修会における参加者の意識調査について
P24-7	かみさく ひとみ 神作 一実	文京学院大学保健医療科学研究科	作業療法士	パンの手元調理による食品物性と押しつぶしによる変化
P24-8	もとかわ けいこ 本川 佳子	東京都健康長寿医療センター研究所	管理栄養士・栄養士	嚥下調整食調理に係る時間や負担についての文献的調査
P24-9	やの みなこ 矢野 衆子	高知大学医学部附属病院リハビリテーション部	言語聴覚士	当院の診療情報データベースを用いた嚥下障害患者の実態調査
P24-10	こじま こむ 小島 好	訪問看護ステーションベビーノ	作業療法士	乳幼児が口にするパンの食品物性
P24-11	せき みちこ 関 道子	京都光華女子大学医療福祉学科	言語聴覚士	高齢者施設向け菓子の物性評価の試み
P24-12	はたの あかり 波多野 朱里	日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック	歯科衛生士	都道府県別にみた介護保険施設等に勤務する歯科衛生士の地域分布と老年人口との関連
P24-13	こやま たまみ 小山 珠美	NPO 法人口から食べる幸せを守る会	看護師・保健師	経口摂取困難と診断された人の食べたい希望をつなぐネットワークシステムの実情と展望